

基本目的Ⅱ 福祉と健康

「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」

◆05 地域福祉

施策目的 地域で支え合い、だれもが安心して暮らせるまちになる

◆06 高齢者

施策目的 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる

◆07 障がい

施策目的 障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる

◆08 社会保障

施策目的 市民が安心して生活できるような社会保障の機能が充実したまちになる

◆09 健康

施策目的 心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになる

◆10 医療

施策目的 適切な医療がいつでも受けられるまちになる



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	36	重要事業		総合戦略		担当部署	社会福祉課	社会係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
3・1・1	社会福祉総務			1,116千円	2,586千円	5,966千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	民生関係経費として、地域福祉の中心的役割を果たす地域福祉推進協議会の開催および安定的な血液を確保・供給するために市民献血を実施する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 第四次館林市地域福祉計画の策定
  - ・地域福祉推進協議会による計画の進捗管理と計画策定
  - ・市民アンケートの実施
  - ・地域懇談会の開催（8地区）
- 市民献血の実施

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進協議会の開催</li> <li>・市民献血の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進協議会の開催</li> <li>・市民献血の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進協議会の開催</li> <li>・市民献血の実施</li> </ul>
事業費		5,966	1,175	1,175
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,966	1,175	1,175

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	地域福祉推進協議会の開催回数	1	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	5				
活動指標	市民献血受付者数	255	目標値	270	278	285	293	300
			実績値	334				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	5,966 千円	令和3年度決算額	3,596 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【地域福祉推進協議会】 令和元年度 実施回数 1回 令和2年度 実施回数 1回 令和3年度 実施回数 5回  【市民献血】 令和元年度 実施回数4回 受付者数255人 献血者数222人 令和2年度 実施回数5回 受付者数322人 献血者数277人 令和3年度 実施回数5回 受付者数334人 献血者数295人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域福祉推進協議会による地域福祉計画の評価をホームページに掲載し、事業の見える化を進めた。また、令和3年度は、第四次地域福祉計画を策定し、令和4年度から5年間の地域福祉に関する施策の目標を設定することができた。 市民献血についても、協力者数は増加しており、血液の安定供給に一定の効果が得られている。					
課題	地域福祉推進協議会は、地域福祉の根幹をなす組織として、今後も継続的な開催を実施する必要がある。 また、血液事業については、高齢者人口の増加と新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令による協力団体が減少している中において、常に安定した血液の確保・供給を求められていることから、市民および職員に周知を図り継続的な実施を行う必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	地域福祉推進協議会における地域福祉計画の進捗管理を継続し、公表していく。 また、市民献血については、今後も高齢化により献血協力者数が減少していくことが予想されるため、日本赤十字社等との協力体制を継続し実施していく。					
令和5年度事業計画	・地域福祉推進協議会の開催 (年1回予定) ・市民献血の実施 (年4回)					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	37	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	民生委員児童委員活動推進事業			7,322千円	7,136千円	9,221千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	民生委員児童委員活動の充実を図るための事業費補助を目的とする。 ・福祉研究部会3部会への補助 ・委員活動費補助（民生委員児童委員148名・主任児童委員18名）
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 民生委員児童委員協議会事業費補助金  
民生委員児童委員の資質向上のための研修等の開催にあたり、開催経費の一部を補助する。
- 民生委員児童委員活動費補助金  
民生委員児童委員の活動にあたり、実費弁償費としての活動費を補助する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金	・民生委員児童委員一斉改選 ・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金	・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金
	事業費	9,221	9,544	9,320
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,221	9,544	9,320

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
民生委員児童委員相談支援件数		1,619	目標値	1,633	1,639	1,646	1,653	1,660
	単位：件		実績値	1,487				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	9,221 千円	令和3年度決算額	9,052 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>【令和元年度】</b> 相談・支援件数 1,619件 その他活動件数 19,106件 活動日数 22,934日			
	<b>【令和2年度】</b> 相談・支援件数 1,436件 その他活動件数 9,696件 活動日数 16,540日			
	<b>【令和3年度】</b> 相談・支援件数 1,487件 その他活動件数 10,488件 活動日数 17,568日			
	委員活動費補助 (市) 令和元年度まで 年間36,000円 令和2年度から 年間47,500円			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症防止により群馬県の警戒度に合わせて活動を制限していたため、相談支援活動件数は目標値に達しなかったが、訪問活動だけでなく電話をなどを活用し、継続して活動を実施することができた。					
課題	民生委員・児童委員の活動日数は、平均約100日であり、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の自粛のなかでも活動日数に大きな減少は見られなかった。しかし、民生委員児童委員への行政等からの依頼事項の増加や地域のつながりの希薄化による相談・支援も多くなっており、委員への負担が大きくなっている。今後は、民生委員児童委員の負担感を軽減し、今後の担い手を確保するためにも、活動内容の整理を図っていく必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	民生委員児童委員の活動範囲が拡大し、拘束時間や専門性が高くなっているため、民生委員児童委員の活動を支援できる環境整備を図っていく。					
令和5年度事業計画	民生委員推薦会の開催 (年2回) 全体研修会の開催 (年3回) 任期別研修会の開催 (3階層各1回) 福祉研究部会3部会開催					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	38	重要事業		総合戦略		担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・1・1	社会福祉諸団体活動推進事業			20,581千円	20,581千円	20,581千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	福祉関係団体（保護司会・更生保護女性会・遺族会）の活動費補助および地域福祉活動の強化充実を図るため、民間福祉の中心となる社会福祉協議会への事業運営費を補助する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 館林邑楽保護区保護司会補助金  
館林邑楽保護区保護司会の活動にあたり、活動費を補助する。
- 館林市更生保護女性会補助金  
更生保護女性会の活動にあたり、活動費を補助する。
- 館林市遺族会事業費補助金  
館林市遺族会の活動にあたり、活動費を補助する。
- 館林市社会福祉協議会補助金  
館林市社会福祉協議会の活動にあたり、活動費を補助する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	20,581	20,581	20,581	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	20,581	20,581	20,581	

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	福祉団体構成員の人数	486	目標値	486	486	486	486	486
			実績値	423				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	20,581千円	令和3年度決算額	20,581千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和元年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円 【令和2年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円 【令和3年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	福祉関係団体（保護司会・更生保護女性会・遺族会）は、犯罪を犯した人の更生や薬物乱用の防止、戦争犠牲者に対する相談などを積極的に実施しており、補助金の有効活用が図られている。 また、社会福祉協議会においては、民間事業所の模範となる先進的な地域福祉活動事業に率先して取り組んでいく必要があるため、収益を大幅に上げることは事業内容的に厳しい状況がある。		
課題	各団体とも活動資金として、補助金以外にも会費や事業収益などの自助努力により資金を確保している。しかし、近年会員の高齢化や会員数の減少、事業収益の減額などの影響により、活動資金の確保も厳しさを増している。		
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	各団体とも自助努力により活動資金を確保しているが、収入源は会員からの会費等の割合が大きく、事業収益を得ることが厳しい状況であるため、今後も活動費の補助を継続していく。		
令和5年度事業計画	・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較		
備考			



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	39	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	ふれあいのまちづくり事業		3,145千円	3,131千円	3,145千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	館林市社協「ふれあいのまちづくり事業」の総事業費×1/2を上限に補助している。 高齢者・障がい者・児童等が各地域の特性を活かした福祉サービスを自主的に推進できるよう、地域社会の連帯感を高め、活力ある地域創造を目的とする。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ふれあいのまちづくり事業補助
  - ・心配ごと相談  
毎月第2・4火曜日、第1・3日曜日実施
  - ・ボランティア活動基盤整備  
ボランティア活動保険事業の実施  
ボランティアセンターの運営
  - ・地域組織化事業
  - ・買い物支援事業

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	ふれあいのまちづくり事業補助			
	事業費	3,145	3,145	3,145
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,145	3,145	3,145

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	福祉ボランティア登録者数	目標値	486	504	521	539	556
		単位：人 実績値	242				
総合計画 指標	福祉NPO法人数	目標値	15	15	15	15	15
		単位：法人 実績値	13				
		目標値					
		単位： 実績値					
		目標値					
		単位： 実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	3,145 千円	令和3年度決算額	3,145 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>【ボランティアシステム登録者数】</b> 令和元年度 212人(新規登録者数 6人) 令和2年度 214人(新規登録者数 1人) 令和3年度 33人(新規登録者数 19人) <b>【小・中学生合同ボランティアスクール】</b> 令和元年度 2回 42人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 <b>【地域組織化事業】</b> 令和元年度 7支部開催 参加人数986人 令和2年度 8支部開催 参加人数257人 令和3年度 推進会議49回 参加人数821人 <b>【買い物支援事業】</b> 令和元年度 実施回数16回 利用者72人 協力員64人 令和2年度 祭儀開催1回 参加者14人(※買い物支援は新型コロナウイルス感染症防止のため中止) 令和3年度 移動販売車を利用した買い物支援の実施		<b>【ボランティア養成講座】</b> 令和元年度 1回 40人 令和2年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止	

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和元年度より買い物支援事業が開始されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在、事業を休止している。しかし、地域の課題である高齢者等の買い物について、社会福祉協議会が地域福祉の中心になって事業展開していくための支援を行うことができている。					
課題	各種相談事業やボランティアの養成事業への取り組みによって、地域福祉の強化に努めている。平成30年度より災害ボランティア養成講座等も新規に実施しているが、ボランティア希望者の高齢化によりボランティアシステムへの登録者数が伸び悩んでいる。また、令和元年度より新規事業として買い物支援事業を進めているが、新型コロナウイルス感染拡大による事業実施の基準など最大限の対策と配慮が必要である。今後も継続的な利用者の募集など、事業拡大のための制度の構築を更に行っていく必要があり、活動が軌道に乗るまでの支援が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	事業実施が新型コロナウイルス感染症防止のため検討を余儀なくされた点もあるが、事業内容や補助金の内容を他課の委託事業等と整理していく必要がある。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心配ごと相談(毎月第2・4火曜日、第1・3日曜日実施)</li> <li>・ボランティア養成研修の実施</li> <li>・地域組織化事業</li> <li>・買い物支援事業</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	40	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	地域共生社会包括支援体制整備構築事業		4,400 千円	4,400千円	5,220 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域住民が抱える様々な福祉の課題を解決するためのふくし総合相談窓口を設置するとともに、その運営を委託して、高齢者、障がい者、子ども、生活が困窮した状態にある方やひきこもり状態にある本人と家族などからの相談に対して適切な助言や支援策を講じるほか、必要に応じて関係機関と連携するなど、地域における福祉の課題を解決する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①地域共生社会包括支援体制整備構築事業 ふくし総合相談窓口に寄せられた相談事案をもとに多機関協働事業や地域づくり事業等を検討し、地域共生社会の実現を目指す。 令和2年度からの新規事業で引き続き館林市社会福祉協議会へ委託。 ※令和2年度 総合相談窓口における相談件数 延136件（来所20件、電話99件、メール6件、その他11件）	
②（細事業） 地域共生社会包括支援体制整備構築事業 委託料	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①地域共生社会包括支援体制整備構築事業 ②（細事業名） 地域共生社会包括支援体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施 ・多機関協働事業計画 ・アウトリーチ事業計画 ・参加型支援事業計画 ・地域づくり事業計画	①地域共生社会包括支援体制整備構築事業 ②（細事業名） 地域共生社会包括支援体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施 ・多機関協働事業実施 ・アウトリーチ事業実施 ・参加型支援事業実施 ・地域づくり事業実施	①地域共生社会包括支援体制整備構築事業 ②（細事業名） 地域共生社会包括支援体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業を検討（重層事業として福祉事業の組替えを行い、事業の一体的実施及び予算の一本化を検討）
	事業費	5,220	4,992	5,000
財源	国庫	3,915	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,305	4,992	5,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	5,220 千円	令和3年度決算額	5,220 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	R2年度 総合相談窓口開設 利用実績 延136人（新規72人、継続64人）  R3年度 総合相談窓口開設 利用実績 延127人（新規107人、継続20人） 相談支援包括化推進会議 1回（書面） 支援会議 6回			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルスの影響で予定していた事業を実施することができなかった。					
課題	重層事業として福祉事業の組替えを行い、事業の一体的実施及び予算を一本化する。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	重層的支援体制整備事業を本格実施					
令和5年度事業計画	重層的支援体制整備事業を本格実施 ・包括的相談支援事業 ・参加型支援事業 ・地域づくり事業 ・アウトリーチ事業 ・多機関協働事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	41	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	ふれあいスポーツ大会事業			691千円	0千円	744千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域団体・福祉団体・ボランティア等によるふれあいスポーツ大会実行委員会に対して補助し、市民がふれあいの場に一堂に会し、楽しみながら世代間の交流を図る。 館林市社会福祉協議会への委託事業として実施。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ふれあいスポーツ大会事業委託  
 高齢者や障がい者等と一緒に、楽しみながら健康づくりに励む機会とするために実施する。  
 【対象者】
- ・市内在住・在勤の高齢者、障がい者
  - ・社会福祉に携わる関係者

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	ふれあいスポーツ大会事業	ふれあいスポーツ大会事業	ふれあいスポーツ大会事業	ふれあいスポーツ大会事業
事業費		744	744	744
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	744	744	744

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ふれあいスポーツ大会の参加者数	目標値	985	985	985	985	985
		実績値	0				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	744千円	令和3年度決算額	0千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【ふれあいスポーツ大会参加者数】(大会種目:11種目) 令和元年度 124団体 985人 11月7日(木)ダノン城沼アリーナにて実施 令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和2年度・3年度の2回にわたり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になっている。しかし、高齢者や障がい者のスポーツに接する機会としての役割は担っているため、今後も健康づくりのための有効な機会と位置付けることができる。					
課題	日頃、スポーツに接することが少ない高齢者や障がい者等と一緒に、楽しみながら健康づくりに励む機会としているが、移動手段の確保ができない等の理由から参加者数の増減が激しいため、館林市総合福祉センターの福祉バスを活用して、参加者が増加していくための手段を検討する必要がある。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者や障がい者のスポーツに接する機会としての役割は担っているため、今後も健康づくりのための有効な機会として実施を継続する。					
令和5年度事業計画	11月上旬に実施予定 <b>【対象者】</b> ・市内在住・在勤の高齢者、障がい者 ・社会福祉に携わるもの					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	42	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	同和対策事業			1,061千円	958千円	1,061千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	同和対策事業の実施と福祉の増進を図る。
----------------	---------------------

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 部落解放同盟館林支部への活動費補助  
部落解放同盟館林支部活動費を補助し、福祉の増進を図る。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事業スケジュール	部落解放同盟館林支部活動費補助金	部落解放同盟館林支部活動費補助金	部落解放同盟館林支部活動費補助金
	事業費	1,061	1,025	1,025
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,061	1,025	1,025

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	部落解放同盟大会参加人数	目標値	13	13	13	13	13
		実績値	3				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,061 千円	令和3年度決算額	543 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【部落解放同盟館林支部補助金】 令和元年度 958,000円 令和2年度 958,000円 令和3年度 529,740円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	部落問題解決や差別解消のための啓発活動に継続して参加している。会員数の増加は見込めないが、差別解消を進めていくため活動費の補助は継続していく必要がある。					
課題	同和問題をはじめとする人権問題を積極的に解決するための活動に対して補助している。団体の性質上、会員の増員は見込めないが、部落問題解決のため現状を維持していく必要がある。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	今後も継続して同和対策事業の実施と福祉の増進を図る。					
令和5年度事業計画	部落解放同盟館林支部活動費補助金 958,000円					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	43	重要事業		総合戦略		担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・1・1	行旅病人等扶助費			397 千円	482千円	397 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行旅病人及び行旅死亡人取扱い法及び市規則により行旅病人の救護、行旅病人の埋葬等を行う</li> <li>・ 浮浪者への電車賃等の対策費</li> </ul>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①行旅病人等扶助費	
②（細事業名） 行旅病人等扶助費	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行旅病人等扶助費</li> </ul> 令和3年9月末現在 . . . 1件 [葬祭費] 180,150円 [死体検案料等] 81,550円 [医療費等] 0円 [官報広告料] 0円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浮浪者一時対策費</li> </ul> 令和3年9月末現在 . . . 4件 840円	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①行旅病人等扶助費		①行旅病人等扶助費	①行旅病人等扶助費
	②（細事業名） 行旅病人等扶助費		②（細事業名） 行旅病人等扶助費	②（細事業名） 行旅病人等扶助費
事業費		397	397	397
財源	国庫	0	0	0
	県費	387	387	387
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	10	10	10

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	397 千円	令和3年度決算額	263 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	行旅病人等扶助費 令和元年度 行旅病人等扶助費支給件数 1件 228,790円 浮浪者一時対策支給件数 7件 2,100円 令和2年度 行旅病人等扶助費支給件数 3件 480,907円 浮浪者一時対策支給件数 4件 1,200円 令和3年度 行旅病人等扶助費支給件数 1件 261,700円 浮浪者一時対策支給件数 4件 840円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	発生した案件に全てに適切に対応した。					
課題	行旅病人及び死亡人にかかる費用については、被保護者（死亡の場合は相続人）の負担となるが、求償しても徴収できない。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	行旅病人の埋葬数は増加傾向であり、今後の予算増が見込まれる。					
令和5年度事業計画	・行旅病人等扶助 ・浮浪者一時対策					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	44	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	応急生活資金貸付金		3,000千円	685千円	3,000 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・低所得世帯で一時的な生活・高額医療費等の支払い困難な家庭に対し必要な資金を貸付し更生と福祉の増進を図る。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

① 応急生活資金貸付金	
②（細事業名）	
応急生活資金貸付金 貸付金	
令和3年9月末現在・・・10件	300,000円

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	① 応急生活資金貸付金		① 応急生活資金貸付金	① 応急生活資金貸付金
	②（細事業名） 応急生活資金貸付金		②（細事業名） 応急生活資金貸付金	②（細事業名） 応急生活資金貸付金
事業費		3,000	3,000	3,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,000	3,000	3,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	3,000 千円	令和3年度決算額	650 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	応急生活資金貸付金 貸付金 令和元年度 20件 521,000円 令和2年度 25件 685,000円 令和3年度 22件 650,000円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	困窮者に対して柔軟に対応できる貸付制度であり、緊急一時的な対応に有効な手段となっている。					
課題	貸付金の未収額が多く、令和3年度に不納欠損処理を実施した。今後も徴収強化を含め、未収額の減額を目指す。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	生活・医療費等の支払い困難な家庭に対し必要な資金を貸付し、更生と福祉の増進を図る。					
令和5年度事業計画	応急生活資金の貸付					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	45	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	社会福祉大会		56千円	0千円	239千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で幸せな家庭生活を営むことのできる社会を実現するため、誰もが福祉の心を醸成できる連帯感あふれ、地域社会の実現と福祉のまちづくりを希求する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 社会福祉大会の実施
  - ・社会福祉に対する市民の理解を深めるため、手話人形劇を実施する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	手話人形劇報償費		社会福祉大会の開催	社会福祉大会の開催
	事業費	239	239	239
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	239	239	239

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	1,042	目標値	1,045	1,046	1,047	1,049	1,050
	単位：人	実績値	0				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	239 千円	令和3年度決算額	0 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和元年度】 福祉関係表彰 5名 小・中学生ポスター・作文コンクール表彰 52名 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【令和3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和2年度・3年度については事業が中止となったが、市民に福祉のまちづくりを広く周知することができる。					
課題	令和3年度から各表彰を廃止した。このため、新たに福祉の心の醸成できる機会を創出するため、手話人形劇の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止による「市民のつどい」の開催が中止になったことにより、令和4年度以降の実施に延期した。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	福祉の啓発については今後も継続していく必要はあるが、イベントの実施については、検討する必要がある。					
令和5年度事業計画	休止を検討する					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	46	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	いきいきタクシー（福祉タクシー）支援事業		14,254千円	9,727千円	13,899千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者等が社会生活を営むうえで外出をする際のタクシー料金を補助し、社会活動の便宜を図る。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- いきいきタクシー料金補助
- ・障がい者等へタクシー料金を補助する。
  - 【交付内容】@500円×36枚
  - 【交付対象者】
    - ・身体障がい者等  
（身体障害者手帳1・2級、精神障害者手帳1・2級、療育手帳A・B(中)）
    - ・高齢者（要支援・要介護認定を受けている第1号・第2号被保険者）
    - ・母子・父子家庭（四輪自動車を保有しない母子・父子家庭）

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		いきいきタクシー料金補助	いきいきタクシー料金補助	いきいきタクシー料金補助
事業費		13,899	13,899	13,899
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,899	13,899	13,899

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	いきいきタクシー券利用枚数	目標値	22,941	22,955	22,970	22,985	23,000
		実績値	20,296				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	13,899千円	令和3年度決算額	10,314千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【平成元年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,973人 ・母子・父子家庭 12人 ・身体障がい者等 315人 【令和2年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,999人 ・母子・父子家庭 14人 ・身体障がい者等 285人 【令和3年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,953人 ・母子・父子家庭 8人 ・身体障がい者等 271人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	交通弱者である高齢者・障がい者が地域との関わりや日常生活を営むための外出支援として、今後も継続した事業展開が必要な事業である。しかし、類似している高齢者通院タクシー事業との統合を踏まえた事業展開を検討していく必要がある。					
課題	高齢者通院タクシー事業と同様であるが、高齢者の交付数が団塊世代の高齢化により、年々増加している。しかし、交付者数に対して、実際の利用者数の割合が低い状況にある。高齢者通院タクシーとの交付枚数や利用制限など内容の統一化を検討していく必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	高齢者通院タクシーとの統合化に向けて、改善を進めていく。					
令和5年度事業計画	【交付内容】@500円×36枚 【交付対象者】 ○身体障がい者等 ・身体障害者手帳1・2級    精神障害者手帳1・2級    療育手帳A・B(中) ○高齢者（要支援・要介護認定を受けている第1号・第2号被保険者） ○母子・父子家庭（四輪自動車を保有しない母子・父子家庭）					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小    ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	47	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	中国残留邦人等支援事業		16,261 千円	15,537千円	16,333千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしの実現を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### ①中国残留邦人等支援事業

#### ②（細事業名）

中国残留邦人等支援事業  
 支援対象者：6世帯6名（令和3年7月29日現在）  
 ※令和3年7月28日 1名死亡

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①中国残留邦人等支援事業	①中国残留邦人等支援事業	①中国残留邦人等支援事業	①中国残留邦人等支援事業
	②（細事業名） 中国残留邦人等支援事業	②（細事業名） 中国残留邦人等支援事業	②（細事業名） 中国残留邦人等支援事業	②（細事業名） 中国残留邦人等支援事業
事業費		16,333	16,333	16,333
財源	国庫	12,455	12,455	12,455
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,878	3,878	3,878

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	16,333 千円	令和3年度決算額	11,149 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	中国残留邦人等支援事業 令和元年度 6世帯7人 生活支援費 14,040千円 令和2年度 6世帯7人 生活支援費 15,495千円 令和3年度 6世帯7人 生活支援費 11,108千円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	対象者に対して適切な支援を実施した。					
課題	対象者の高齢化が進んでおり、通院や入院による医療費の増加が見込まれる。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	県委嘱の中国帰国者支援・相談員が通訳として配置し対応する。					
令和5年度事業計画	中国残留邦人への支援給付費の支給					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	48	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・1・1	生活困窮者自立支援事業			10,160 千円	20,278千円	16,091 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援員（任用職員）1名、就労支援員（任用職員）1名を雇用し、現に生活に困窮している者が生活保護に至らないよう相談業務を行い、早期に包括的な支援を行う。</li> <li>・離職等により経済的に困窮し住居を喪失、もしくは喪失しそうな者に対し住居確保給付金を支給し安定した住居の確保と就労自立を図る。（原則3か月間 最長9か月間）</li> <li>・生活困窮世帯の児童生徒に早期からの学習習慣の定着と進学に向けた支援を行い、高校卒業後の就労機会の拡充を図り、貧困の連鎖の解消を図る。</li> </ul>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①生活困窮者自立支援事業【重要事業】          国の制度改正等に応じ生活困窮者へ必要な支援を行う。          住居確保給付金については新型コロナウイルス感染症対策事業として適用要件を緩和          （令和3年11月30日付厚生労働省通知により、3か月間の再支給申請期間が令和4年3月31日へ延長）</p> <p>②（細事業名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援事業              住居確保給付金の相談及び支給決定業務（扶助費 令和2年度の実績 100世帯 15,168,100円）              総合支援資金特例貸付相談業務（貸付業務は社会福祉協議会）</li> <li>・子どもの学習支援              小学生及び中学生を対象とし、シルバー人材センターの「おさらい教室」により、生活保護受給世帯及び準要保護世帯へ学習支援を行う。市内小・中学校に周知し、利用促進を行う。</li> </ul> <p>※平成29年度 シルバー人材センターの「おさらい教室」（国語・算数）を活用し、委託事業として実施（小学生のみ）          ※平成30年度 中学生を対象に「おさらい教室」（英語）を新規で実施          令和3年度の実施状況（9月末現在） 小学生 22人、中学生 9人</p>	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①生活困窮者自立支援事業【重】	①生活困窮者自立支援事業【重】	①生活困窮者自立支援事業【重】	①生活困窮者自立支援事業【重】
	②（細事業名） 生活困窮者自立支援事業 扶助費	②（細事業名） 生活困窮者自立支援事業 扶助費	②（細事業名） 生活困窮者自立支援事業 扶助費	②（細事業名） 生活困窮者自立支援事業 扶助費
事業費		16,091	18,333	18,333
財源	国庫	3,506	11,338	11,338
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	11	11	11
	一般財源	12,574	6,984	6,984

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	16,091千円	令和3年度決算額	15,336千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活困窮者自立支援事業 令和元年度 住居確保給付金 8世帯 265,100円 子どもの学習支援 延319人 令和2年度 住居確保給付金 100世帯 15,168,100円 子どもの学習支援 延265人 令和3年度 住居確保給付金 82世帯 9,857,800円 子どもの学習支援 延341人			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	住居確保給付金は新型コロナウイルス感染症対策事業と実施し、令和元年度と比較すると令和2～3年度は大幅に件数が増加している。 子どもの学習支援もは新型コロナウイルスの影響で実施できない時期もあったが、令和2年度と比較すると令和3年度の件数が増加している。					
課題	住居確保給付金：生活再建に向けた本人の主体性を引き出すことが困難である。 子どもの学習支援：教科（中学生・数学等）の増加が必要である。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	住居確保給付金は就労に向けたさらなる支援を行い、早期自立に向けた支援を強化する。 子どもの学習支援は教科（中学生・数学等）の増加を検討する。					
令和5年度事業計画	・ 自立相談支援 ・ 住居確保給付金 ・ 子どもの学習支援					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	49	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・1	社会福祉法人指導監査経費			344千円	18千円	344千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会福祉法人の指導監査を行うことにより、法人の適正な運営と円滑な事業の経営の確保を図るとともに、利用者本位の福祉サービスの提供により、利用者が安心して利用できる施設とする。さらに不適正な処遇や不正請求等に機動的に対応するとともに、良質なサービス事業者の育成と分かりやすい利用者サービスの一層の充実を図るため、その指導に努める。また、介護サービス事業所等の実地指導も同様に実施する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 社会福祉法人等の指導監査の実施
- |               |       |
|---------------|-------|
| 法人監査          | 5法人   |
| 介護事業所等実地指導    | 17事業所 |
| 放課後児童クラブ実地指導  | 8クラブ  |
| 特定教育・保育施設実地指導 | 3事業所  |
| 相談支援事業所指導監査   | 1事業所  |

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査		社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査	社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査	
	事業費	344	344	344	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	344	344	344	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	一般指導監査等実施件数	目標値	23	23	23	23	23
		実績値	10				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	344 千円	令和3年度決算額	34 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和元年度】 法人監査 2法人 介護事業所実地指導 17事業所 相談支援事業所指導監査 2事業所 特定教育・保育施設実地指導 2施設 【令和2年度】 介護事業所実地指導 1事業所 【令和3年度】 法人監査 1法人 介護事業所実地指導 10事業所			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	監査等対象事業所が増加しているが、定期的な監査等が法令に定められていることから、年間計画により適正に進め、各事業所へ改善等にむけた指導・助言を行うことができた。 また、対象事業所等の範囲が介護・子ども・障がいと多岐にわたることから知識の習得に時間がかかるため、継続して監査体制の充実を図る必要がある。					
課題	社会福祉法人、各介護事業所等の監査等を定期的実施しなければならないほか、特別監査として、特に指導が必要と思われる事業所等については、緊急的に監査を実施しなければならない。専門的知識の蓄積が必要である。 さらに保育の無償化が実施されたことに伴い、特定子ども・子育て支援施設等への確認監査、子ども園化に伴う特定保育施設指導監査を実施できる体制を整える必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	社会福祉法および介護保険法、子ども・子育て支援法等法令により指導監査・実地指導等が所轄庁の義務とされているため、監査等計画に基づき実施していく。					
令和5年度事業計画	法人監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定子ども・子育て支援施設等指導監査 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	50	重要事業		総合戦略		担当部署	社会福祉課	社会係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
3・1・6	総合福祉センター運営			76,772千円	85,114千円	86,088千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ふれあいと安らぎのある地域社会の実現を目指す拠点として、指定管理者への施設運営および維持管理を委託し、拠点整備を図る。 ・指定管理：館林市社会福祉協議会（指定期間：令和3年度 1年間）
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○総合福祉センター指定管理者の指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）
○総合福祉センター設備等改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階プール系空調設備改修工事</li> <li>・2階空調設備改修工事</li> <li>・プール排煙窓オペレーター交換工事</li> <li>・プール地下ピット補修工事</li> </ul>

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター空調設備等改修工事	・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター空調設備等改修工事	・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター外壁等補修工事
事業費		86,088	103,179	379,625
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	86,088	103,179	379,625

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 総合福祉センター運営協議会の開催	2	目標値	2	2	2	2	2
	単位：回	実績値	2				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	86,088 千円	令和3年度決算額	85,504 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和元年度】 指定管理委託料 69,849,000円 工事費 5,990,200円 【令和2年度】 指定管理委託料 73,154,000円 工事費 9,801,000円 【令和3年度】 指定管理委託料 68,735,000円 調査委託料 1,210,000円 工事費 13,046,000円			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	長期的な工事実施計画を策定し、市民の地域福祉の拠点施設としての役割を果たすため、継続的な工事・修繕・補修を行っている。 また、令和3年度はセンターの指定管理者選定を行い、令和4年度から5年間の指定管理を指定することができた。					
課題	計画的な設備の修繕や改修工事を行っているが、施設の老朽化によって年々新たな修繕が必要な設備等が発生している状況である。大規模な改修工事等を検討する必要がある。また、令和4年度から新たな指定管理期間となることから、指定管理者と連携してセンターの利活用を検討していく必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	施設の老朽化に対応した計画的な修繕を実施する。また、指定管理者による施設運営が適正なものとなるよう、指定管理者への指導・確認を行っていく。					
令和5年度事業計画	総合福祉センター指定管理委託 総合福祉センター空調設備等改修工事					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	51	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・3・1	生活保護総務			15,166 千円	15,625千円	16,173 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬明細点検（任用職員1名を配置）の充実を図る。</li> <li>・就労支援員（任用職員1名）の配置により、業務の適正化と自立支援を図る。</li> <li>・面接相談員（任用職員1名）の配置により、業務の適正化を図る。</li> <li>・生活保護支援員（警察0B）（任用職員1名）の配置により、不正受給を防止し、業務の適正化を図る。</li> <li>・生活保護システムを用い、生活保護の事務処理省力化を図り、生活保護費算定事務、ケース記録等の定例事務処理及び医療・統計・介護などの処理を迅速化し、それにより本来の業務（相談、援助、調査等）に従事し、生活保護の適正実施を推進する。</li> <li>・社会福祉主事資格を取得し、業務の適正化を図る。</li> </ul>
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①生活保護総務【重要事業】  
 業務に応じた会計年度職員の業務管理を行い、生活保護制度を適正に運営する。  
 生活保護制度改正に対応できるようシステム管理を行う。  
 人事異動に伴い、資格取得が必要な場合は適宜対応する。
- ②（細事業名）  
 生活保護運営対策事業

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①生活保護総務【重】 ②（細事業名） 生活保護運営対策事業		①生活保護総務【重】 ②（細事業名） 生活保護運営対策事業	①生活保護総務【重】 ②（細事業名） 生活保護運営対策事業
	事業費	16,173	16,378	16,378
財源	国庫	6,894	7,068	7,068
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	23	20	20
	一般財源	9,256	9,290	9,290

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	生活保護受給世帯から自立した世帯数	19	目標値	19	19	19	19	19
		単位：世帯	実績値	11				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	16,173 千円	令和3年度決算額	15,633 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活保護受給世帯から自立した世帯数 令和元年度 19人 令和2年度 19人 令和3年度 14人  生活保護 令和元年度 414世帯 484人 保護率0.65% 令和2年度 402世帯 467人 保護率0.63% 令和3年度 385世帯 444人 保護率0.59%			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	稼働年齢層の受給者に対してハローワークと連携し、就労支援等を行うことにより経済的な自立を促した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には達成しなかった。					
課題	最後のセーフティネットとしての制度であるが、各種調査の他、稼働能力の判断など、保護の決定に時間と労力を要する。また、制度に対する信頼性を確保し、不正受給を防止するための厳正な対応が求められている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	新型コロナウイルス感染症の影響による不安定な雇用情勢の中、稼働年齢層の受給者に対して就労に向けた支援を積極的に行い、早期自立に向けた支援を強化する。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保護者就労支援事業</li> <li>・レセプトを活用とした医療扶助適正化事業</li> <li>・体制整備強化事業</li> <li>・警察との連携協力体制強化事業</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	52	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)
3・3・2	扶助費			929,289 千円	802,388千円
				当初予算額 (R3)	945,017 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・ 困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を維持させながら、各種指導を行い自立の助長を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①扶助費 新型コロナウイルス感染症対策事業の状況を把握し、必要に応じ生活保護制度の適用を検討する。	
②（細事業名） 生活保護	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①扶助費 ②（細事業名） 生活保護		①扶助費 ②（細事業名） 生活保護	①扶助費 ②（細事業名） 生活保護
	事業費	945,017	929,632	929,632
財源	国庫	703,299	696,474	696,474
	県費	6,690	6,690	6,690
	市債	0	0	0
	その他	1,000	1,000	1,000
	一般財源	234,028	225,468	225,468

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	945,017 千円	令和3年度決算額	785,016 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活保護扶助費 令和元年度 414世帯 484人 904,712,769円 令和2年度 402世帯 467人 802,388,412円 令和3年度 385世帯 444人 754,015,897円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	保護受給世帯の高齢化が進み、死亡を理由とした廃止件数が多くなり、保護受給世帯は減少傾向である。					
課題	被保護者の高齢化が進み、医療扶助や介護補助の増加が見込まれる。 国の生活困窮者自立支援事業が終了すると、生活保護申請者の増加が見込まれる。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	要保護者に生活、医療、介護等にかかる費用を適正に支出し、持続可能な制度の運用に努める。					
令和5年度事業計画	扶助費（生活・教育・住居・介助・医療・出産・生業・葬祭）及び施設（救護）事務費の支給					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	53	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・5・1	災害救助費			246千円	20千円	246千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い.誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_災害発生に備えた平時からの情報共有

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	火災・爆発ならびに浸水等による罹災者に対し、見舞金を支給し市民福祉の増進を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 罹災者救助見舞金の支給  
 火災等により、住宅が罹災した方に対し、罹災直後に生活の再建のために活用してもらう見舞金を支給する。
- ・弔慰金 30,000円
  - ・全焼 30,000円
  - ・半焼 20,000円
  - ・床上浸水 10,000円

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	罹災者への見舞金の支給		罹災者への見舞金の支給	罹災者への見舞金の支給
事業費		246	246	246
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	246	246	246

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	8	目標値	5	4	3	2	0
	単位：件	実績値	3				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	246 千円	令和3年度決算額	70 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	罹災者救助見舞金  【令和元年度】 弔慰金2件、全焼6件、半焼2件、床上浸水0件      合計280,000円 【令和2年度】 弔慰金0件、全焼0件、半焼1件、床上浸水0件      合計 20,000円 【令和3年度】 弔慰金0件、全焼1件、半焼2件、床上浸水0件      合計 70,000円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	罹災直後に訪問することで、生活再建に向け支援を行うことができた。			
課題	火災等による罹災者に対し、罹災直後に見舞金を支給し生活の再建のために活用してもらうとともに、訪問時に各種相談窓口等の案内を行っている。			
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )			
	火災・爆発ならびに浸水等による罹災者に対し、見舞金を支給し市民福祉の増進を図り、生活再建に向けての支援を継続する。			
令和5年度事業計画	弔慰金	30,000円	全焼	30,000円
	半焼	20,000円	床上浸水	10,000円
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小      ※前年度比較			
備考				

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	54	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・1	老人福祉施設整備事業		0千円	0千円	18,620 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	小規模福祉施設の施設整備に際し、群馬県介護基盤等整備事業費補助金の範囲内で補助を行う
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

介護基盤等整備事業費補助  
（大規模修繕に伴う介護ロボット導入 1事業所18床）

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	介護基盤等整備事業費補助 （大規模修繕に伴う介護ロボット導入 1施設 18床）		認知症グループホーム建設 （2ユニット18床新設）	地域密着型特定施設入居者生活介護建設
事業費		18,620	57,827	0
財源	国庫	0	0	0
	県費	18,620	57,827	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	153 単位：床	目標値	-	-	171	-	-
		実績値	-				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	18,620 千円	令和3年度決算額	3,860 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 ○認知症高齢者グループホーム防災改修等支援事業費補助金（グループホームタンポポ）6,160,000円（9月補正）  令和3年度 ○認知症高齢者グループホーム防災改修等支援事業費補助金 （大規模修繕に伴う介護ロボット導入 グループホーム喜楽）1,497,000円  ○地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金（ヴィベル館林栄町他2か所）2,363,000円（12月補正）			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	本年度は指標に関する事業の実施なし。 介護現場の省力化や防災設備の強化により、介護人材の処遇改善や職場環境の改善を行う事業について、指標以外の取り組みとして実施している。					
課題	・物価高騰や介護人材不足等の経営環境の変化による施設整備の取り下げ等が出ている。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	高齢者いきいきプランに基づき施設整備等を実施する。					
令和5年度事業計画	・高齢者いきいきプランに基づく高齢者向け住まいの整備 ・地域密着型特定施設入居者生活介護（サ高住20床）の整備					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較				
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	55	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・1	敬老の日関係事業		12,501千円	11,357千円	13,633千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	家庭及び地域における敬老思想の普及、啓発のため高齢者慶祝訪問を実施し、長寿を祝福することにより、敬老意識の高揚を図る。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<p>市内に居住する高齢者に対し、敬老祝金を贈る。</p> <p>○80歳 年額 5,000円 895人 (H30:621人、R1:692人、R2:755人)</p> <p>○90歳 年額 10,000円 349人 (H30:276人、R1:291人、R2:331人)</p> <p>○95歳 年額 15,000円 137人 (H30: 98人、R1:120人、R2:111人)</p> <p>○100歳 年額100,000円 32人 (H30: 19人、R1: 17人、R2: 24人)</p> <p>また上記に加え、100歳到達者についてはその誕生月に居所を訪問し、慶祝状等を贈呈する。</p>
---

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	敬老祝金の贈呈	敬老祝金の贈呈	敬老祝金の贈呈	敬老祝金の贈呈
事業費		13,633	13,700	13,700
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,633	13,700	13,700

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	敬老祝金贈与事業対象者数	目標値	1,260	1,330	1,400	1,470	1,541
		実績値	1,349				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	13,633 千円	令和3年度決算額	12,837 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	敬老祝金贈呈数 ○80歳 年額 5,000円 871人 (H30:621人、R1:692人、R2:755人) ○90歳 年額 10,000円 325人 (H30:276人、R1:291人、R2:331人) ○95歳 年額 15,000円 122人 (H30: 98人、R1:120人、R2:111人) ○100歳 年額100,000円 31人 (H30: 19人、R1: 17人、R2: 24人)			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法に基づく敬老思想の普及、啓発に寄与することを目的とした事業として実施しており、一定の効果が得られていると考える。
課題	・2025年問題をはじめとする高齢化に伴う対象者の増加による費用負担増
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	高齢化に伴う対象人口の増加が見込まれるが、敬老思想の普及、啓発のため、継続して実施する。
令和5年度事業計画	敬老祝金の贈呈
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	56	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・1	合同金婚式等事業		3,215千円	2,840千円	4,127千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	結婚50周年を迎えた夫婦を対象に、合同金婚式典を開催するとともに、結婚60周年を迎えた夫婦には、慶祝状及び記念品を贈り祝意を表す。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<p>&lt;合同金婚式&gt; 令和3年度より、事業の一部見直しを行い、申出制とする。</p> <p>&lt;ダイヤモンド婚慶祝&gt; 結婚60周年を迎える夫婦に対して慶祝状及び記念品を贈呈し、祝意を表す。</p> <p>&lt;特別慶祝&gt; 結婚70周年を迎える夫婦に対し、慶祝状と記念品を贈呈し、祝意を表す。</p>
--

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	合同金婚式典開催		合同金婚式典開催	合同金婚式典開催
	ダイヤモンド婚慶祝訪問		ダイヤモンド婚慶祝訪問	ダイヤモンド婚慶祝訪問
	特別慶祝訪問		特別慶祝訪問	特別慶祝訪問
	<b>事業費</b>	4,127	3,030	3,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,127	3,030	3,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	合同金婚式出席率	目標値	43	44.7	46.4	48.1	50
		単位：％ 実績値	41.9				
		目標値					
		単位： 実績値					
		目標値					
		単位： 実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,127 千円	令和3年度決算額	1,714 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	合同金婚式典開催 令和元年度 対象組数 270組 式典参加107組 令和2年度 対象組数 393組 (コロナにより式典中止) 令和3年度 申出数 160組 式典参加 67組  ダイヤモンド婚慶祝訪問 令和元年度 対象組数 75組 令和2年度 対象組数 77組 令和3年度 対象組数 88組  特別慶祝 令和元年度 対象組数 6組 令和2年度 対象組数 2組 令和3年度 対象組数 2組		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、概ね目標を達成している。 老人福祉法に基づく敬老思想を啓発する事業として、一定の効果が得られていると考える。
課題	・対象者への周知徹底
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止 )
	老人福祉法に基づく敬老思想を啓発のため事業を継続する。特別慶祝については、廃止も含め検討を行う。
令和5年度事業計画	・合同金婚式典開催 ・ダイヤモンド婚慶祝訪問 ・特別慶祝訪問
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	57	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・1	施設入所者援護事業		105,133千円	95,127千円	105,699千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	老人福祉法第11条の規定に基づき、市の責務としておおむね65歳以上の要援護高齢者を施設に入所させ、生活の安定を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

入所措置関連	老人福祉法に基づき、入所措置基準に基づく入所判定を行う。
高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託	老人福祉法に基づき、社会福祉法人ポプラ会の館林養護老人ホーム伸楽園に入所措置に係る事業委託を実施する。
短期入所事業委託	養護老人ホーム自立生活支援短期入所事業実施規則に基づき、社会的環境及び災害により、一時的に養護する必要がある市民を、養護老人ホームへ短期入所させる。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	入所判定委員会実施		入所判定委員会実施	入所判定委員会実施
	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託		高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託
	短期入所事業委託		短期入所事業委託	短期入所事業委託
	<b>事業費</b>	105,699	106,000	106,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	10,882	11,000	11,000
	一般財源	94,817	95,000	95,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 養護老人ホーム措置入所者数	39	目標値	39	39	40	40	40
	単位：人	実績値	38				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	105,699 千円	令和3年度決算額	86,703 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	入所者数 (令和元年度: 39人 令和2年度: 38人 令和3年度: 36人 )  入所措置関連 入所判定 令和元年 1回 3名 令和2年 2回 5名 令和3年 2回 7名  高齢者援護施設(養護老人ホーム)委託 令和元年 91,105,492円 令和2年 88,068,347円 令和3年 81,240,680円  短期入所事業委託 令和元年 6,483,900円 令和2年 7,002,600円 令和3年 5,292,600円		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	B
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法に基づき実施する事業で、必要なたに適切な措置を行っている。
課題	・委託事業者による、施設の運営維持。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	老人福祉法に基づき、被措置者の措置体制を維持する。
令和5年度事業計画	・入所判定委員会実施 ・高齢者援護施設(養護老人ホーム)委託 ・短期入所事業委託
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	58	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・2	シルバー人材センター運営費補助金		18,000千円	18,000千円	18,000千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者等の雇用の安定等に関する法律により設立された公益社団法人館林市シルバー人材センターに対し、補助金を交付し、高齢者等の職業の安定及び福祉の増進を図ることを目的とする。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

	当センターは、市民からの発注による受託事業、派遣事業の受注増により健全運営を図っている。今年度も、新型コロナウイルスの影響により受注件数が減少しており、継続した支援を行う。
--	--

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助	センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助	センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助
	事業費	18,000	18,000	18,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	18,000	18,000	18,000

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	18,000 千円	令和3年度決算額	18,000 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	補助金交付実績 令和元年度 18,000,000円 令和2年度 18,000,000円 令和3年度 18,000,000円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者の雇用の安定に関する法律に基づき、高齢者の職業の安定及び福祉の増進に要するシルバー人材センターの経費を助成し、高齢者の雇用及び経営安定のため支援を行う。					
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、シルバー人材センターの受託事業等が減少している。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者雇用の安定及び福祉増進のため、支援を継続する。					
令和5年度事業計画	シルバー人材センター運営費補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	59	重要事業	○	総合戦略		担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・4・2	生きがいと健康づくり推進事業			5,956千円	5,061千円	5,495千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶ 1_高齢者の社会参加の促進と自立した生活の支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者の自主的活動等を援助することにより、高齢者にふさわしい魅力ある地域社会を築く
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

高齢者クラブ活動費補助【重要事業】  
館林市寿連合会、地区寿連合会、各単位クラブに対する補助

高齢者魅力ある地域づくり事業【重要事業】

高齢者スポーツ広場設置等補助【重要事業】

コミュニティーサロン設置運営費補助【重要事業】  
社会福祉協議会の実施するふれあい・いきいきサロン設置運営事業への補助

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者クラブ活動促進費補助【重】</li> <li>・ 高齢者魅力ある地域づくり事業【重】</li> <li>・ スポーツ広場設置補助【重】</li> <li>・ コミュニティーサロン事業補助【重】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者クラブ活動促進費補助【重】</li> <li>・ 高齢者魅力ある地域づくり事業【重】</li> <li>・ スポーツ広場設置補助【重】</li> <li>・ コミュニティーサロン事業補助【重】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者クラブ活動促進費補助【重】</li> <li>・ 高齢者魅力ある地域づくり事業【重】</li> <li>・ スポーツ広場設置補助【重】</li> <li>・ コミュニティーサロン事業補助【重】</li> </ul>	
	事業費	5,495	5,495	5,495	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	1,388	1,388	1,388
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	4,107	4,107	4,107	

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	コミュニティーサロンの件数	39	目標値	41	42	43	44	45
		単位：件	実績値	35				
活動指標	寿連合会の会員数	3,404	目標値	3,269	3,202	3,135	3,068	3,000
		単位：人	実績値	2,719				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	5,495 千円	令和3年度決算額	4,245 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	コミュニティサロンの件数 令和元年度 39か所 令和2年度 36か所 令和3年度 35か所  寿連合会の会員数 令和元年度 3,404人 令和2年度 3,264人 令和3年度 2,719人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	コロナ禍により、サロンの件数、寿連合会の会員数とも減少しているが、老人福祉法の理念により高齢者の生きがいと健康づくりに資する事業を継続して実施しており、活動の維持が図られている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織内の高齢化により、組織の維持、活動の継続が難しくなっている。</li> <li>・ 高齢者の余暇の多様化や、就業年齢の上昇により後継年齢層の加入がない。</li> </ul>					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	サロンの運営支援を行う社会福祉協議会と連携し、高齢者の居場所づくりのための事業を継続する。寿連合会員数は減少傾向にあるが、高齢者の生きがいづくりのため事業を継続する。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者クラブ活動促進費補助</li> <li>・ 高齢者魅力ある地域づくり事業</li> <li>・ スポーツ広場設置補助</li> <li>・ コミュニティーサロン事業補助</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	60	重要事業	○	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・3	高齢者在宅サービス推進事業			51,584千円	39,255千円	53,313千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶ 2_高齢者の権利擁護の促進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が安全で安心して在宅生活を送ることができるよう、さまざまなサービスで支援する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①緊急通報装置設置事業【重要事業】 ②保険適用外はり・きゆう・マッサージ施術料助成【重要事業】 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業【重要事業】 ④寝具乾燥殺菌事業【重要事業】 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業【重要事業】 ⑥救急医療情報キット設置事業【重要事業】 ⑦認知症高齢者権利擁護事業【重要事業】 ⑧成年後見制度利用者補助事業【重要事業】 ⑨市民後見人養成事業【重要事業】 ⑩介護用車両購入費等補助金交付【重要事業】 ⑪介護慰労金【重要事業】 ⑫尿漏れパット給付事業【重要事業】 ⑬日常生活用具給付事業【重要事業】	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		①緊急通報装置設置事業【重】 ②保険適用外はり・きゆう・マッサージ施術料助成【重】 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業【重】 ④寝具乾燥殺菌事業【重】 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業【重】 ⑥救急医療情報キット設置事業【重】 ⑦認知症高齢者権利擁護事業【重】 ⑧成年後見制度利用者補助事業【重】 ⑨市民後見人養成事業【重】 ⑩介護用車両購入費等補助金交付【重】 ⑪介護慰労金【重】 ⑫尿漏れパット給付事業【重】 ⑬日常生活用具給付事業【重】	①緊急通報装置設置事業【重】 ②保険適用外はり・きゆう・マッサージ施術料助成【重】 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業【重】 ④寝具乾燥殺菌事業【重】 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業【重】 ⑥救急医療情報キット設置事業【重】 ⑦認知症高齢者権利擁護事業【重】 ⑧市民後見人養成事業【重】 ⑨介護用車両購入費等補助金交付【重】 ⑩介護慰労金【重】 ⑪尿漏れパット給付事業【重】 ⑫日常生活用具給付事業【重】	①緊急通報装置設置事業【重】 ②保険適用外はり・きゆう・マッサージ施術料助成【重】 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業【重】 ④寝具乾燥殺菌事業【重】 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業【重】 ⑥救急医療情報キット設置事業【重】 ⑦認知症高齢者権利擁護事業【重】 ⑧市民後見人養成事業【重】 ⑨介護用車両購入費等補助金交付【重】 ⑩介護慰労金【重】 ⑪尿漏れパット給付事業【重】 ⑫日常生活用具給付事業【重】	
	事業費	53,313	53,000	53,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	3,270	1,343	1,343
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
一般財源	50,043	51,657	51,657		

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 【市民アンケート】高齢者（福祉・サービス、社会参加など）の対策の満足度	25.2	目標値	-	28.2	-	-	31.2
	単位：%	実績値	-				
活動指標 配食サービス利用人数（高齢者いきいきプラン）	115	目標値	120	122	125	-	-
	単位：人	実績値	114				
活動指標 市民後見人養成講座受講者延人数（高齢者いきいきプラン）	62	目標値	77	77	92	-	-
	単位：人	実績値	69				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	53,313千円	令和3年度決算額	43,109千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	③配食サービス利用人数 令和元年度 115人 17,835食 令和2年度 118人 19,592食 令和3年度 114人 19,040食  ⑨市民後見人養成講座受講者延人数 令和元年度 62人 令和2年度 62人 令和3年度 69人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法の趣旨に基づき在宅支援サービスを実施し、継続した支援を行っている。 市民後見人養成事業では、新型コロナによる養成講座の実施延期や、受講希望者が減少したが、新たに市民後見員が選任されるなど、事業の成果が見られた。					
課題	高齢者福祉サービスの利用ニーズに対してより効果的な事業の検討					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者が安全で安心して在宅生活を送ることができるよう、利用ニーズに対しての制度の在り方を検討する。 介護保険制度での代替実施が可能な事業については、次期介護保険計画の策定時に介護保険サービスへの移行を検討する。					
令和5年度事業計画	①緊急通報装置設置事業 ②保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料助成 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業 ④寝具乾燥殺菌事業 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業 ⑥救急医療情報キット設置事業 ⑦認知症高齢者権利擁護事業 ⑧市民後見人養成事業 ⑨介護用車両購入費等補助金交付 ⑩介護慰労金 ⑪尿漏れパット給付事業 ⑫日常生活用具給付事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	61	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・3	高齢者向け住宅整備事業		1,041千円	622千円	1,041千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が居住する住宅を改造又は補修する場合、その事業に要する経費に対して補助を行い、住みよい生活環境の改善を図る
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<p>高齢者住宅改修費補助 改修等の工事の経費と600,000円の補助基本額のいずれか低い額の5/6の額。1,000円未満の端数は切り捨て</p> <p>高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給</p>
--

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	高齢者住宅改修費補助		高齢者住宅改修費補助	高齢者住宅改修費補助
	高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給		高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給	高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給
事業費		1,041	1,041	1,041
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,041	1,041	1,041

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	高齢者住宅改修費補助利用件数	目標値	1	1	1	2	2
		実績値	0				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,041 千円	令和3年度決算額	0 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	高齢者住宅改修費補助利用件数 令和元年度 0件 令和2年度 2件 令和3年度 0件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法に基づき、在宅における生活環境の改善を図ることを目的とする事業であるが、本年度は事業の利用がなかった。					
課題	介護保険サービスの居宅介護住宅改修事業との棲み分け					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	補助制度の見直しを検討する。					
令和5年度事業計画	・高齢者住宅改修費補助 ・高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	62	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・4	老人福祉センター運営		7,233千円	6,167千円	7,300千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の健康づくりを推進し、総合的な保健サービスを図るとともに、高齢者の教養を深めその健康を増進し、生きがいを高めることを目的とし、各種事業を実施する。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

高齢者の教養の向上及び生きがいを高めることを目的とし、教養講座及び高齢者いきいきセミナーを実施する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	教養講座		教養講座	教養講座
	いきいきセミナー		いきいきセミナー	いきいきセミナー
			照明設備等更新工事	照明設備等更新工事
事業費		7,300	7,000	7,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	435	435	435
	一般財源	6,865	6,565	6,565

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 老人福祉センター利用者数（高齢者いきいきプラン）	11,623	目標値	10,000	11,000	11,000	-	-
	単位：人	実績値	5,865				
活動指標 老人福祉センター利用自主グループ数（高齢者いきいきプラン）	17	目標値	17	17	17	-	-
	単位：団体	実績値	14				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,300 千円	令和3年度決算額	5,956 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	老人福祉センター利用者数 令和元年度 11,623人 令和2年度 4,820人 令和3年度 5,865人  老人福祉センター利用自主グループ数 令和元年度 17団体 令和2年度 16団体 令和3年度 14団体		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	C
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	コロナ禍による活動停止や各団体の活動自粛により、老人センターの利用者数及び利用団体数が減少したが、感染対策を徹底しながら開館し、各団体及び行政の主催事業を実施した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教養講座やいきいきセミナーについては、高齢者のニーズに合わせて内容を見直し、参加者の確保を図る。</li> <li>・ 施設の老朽化に伴う維持・修繕が必要である。</li> </ul>
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	老人福祉法に基づく教養の向上を目的に、老人福祉センター運営と教養講座及び高齢者いきいきセミナーを実施する。
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教養講座</li> <li>・ いきいきセミナー</li> <li>・ 照明設備のLED化</li> </ul>
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	63	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護特別会計	介護予防・生活支援サービス事業			229,676千円	191,071千円	227,481千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	介護保険第1号被保険者（65歳以上のかた）で、要支援1・2に認定されたかたや、市が行う基本チェックリストにより事業対象者に判定されたかたが利用できる事業で、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的とする。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>訪問型サービスA及び訪問型サービスBの新たな担い手を養成し、多様なサービスの充実を図るとともに、高齢者のニーズに応じた多様なサービスを創設する。</p> <p>国としては、要支援者だけでなく、要介護者も総合事業を利用できるようにしていく流れになってきているため、導入に向けて関係機関との調整を図っていく。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント		訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント
	事業費	227,481	259,361	259,361
財源	国庫	53,207	59,598	59,989
	県費	28,435	32,419	32,420
	市債	0	0	0
	その他	61,419	70,025	70,027
	一般財源	84,420	97,319	96,925

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	訪問型サービス（高齢者いきいきプラン） 単位：件	目標値	4,080	4,698	5,436	-	-
		実績値	3,551				
活動指標	通所型サービス（高齢者いきいきプラン） 単位：件	目標値	4,896	5,634	6,528	-	-
		実績値	4,367				
活動指標	介護予防ケアマネジメント（高齢者いきいきプラン） 単位：件	目標値	5,170	5,950	6,850	-	-
		実績値	4,009				
		目標値					
		単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	227,481千円	令和3年度決算額	192,361千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 訪問型サービス 3,621件、通所型サービス 4,424件、 介護予防ケアマネジメント 4,515件 令和2年度 訪問型サービス 3,530件、通所型サービス 4,361件、 介護予防ケアマネジメント 4,251件 令和3年度 訪問型サービス 3,551件、通所型サービス 4,367件、 介護予防ケアマネジメント 4,009件			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、介護予防・生活支援サービスが利用されている。					
課題	自立を支援し、地域での生活を支えていくための多様なサービスの提供が求められる。 介護予防ケアマネジメントの充実により、適切なサービスに繋げていく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、充実を図っていく。					
令和5年 度事業計 画	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	64	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護特別会計	一般介護予防事業			14,833 千円	9,667千円	12,492 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶7_地域で取り組む介護予防活動の促進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	65歳以上のすべての高齢者やその支援のための活動に関わる人を対象とし、介護予防教室等により、介護予防の普及啓発を図るとともに、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、継続的に活動できる地域づくりを支援する。また、リハビリテーション専門職が、高齢者の有する能力を引き出すための助言や指導を行い、自立支援を推進する。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業のそれぞれにおいて、さらに事業のPRを行い、参加者の増加を図るとともに、今後も地域包括支援センターとの連携を図り、住民が継続的な活動を行えるよう支援する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 男のマシントレーニング教室 有酸素運動入門教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 フレイルサポーター養成 介護支援ボランティア	元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 フレイルサポーター養成 介護支援ボランティア	元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 介護支援ボランティア
事業費		12,492	13,125	13,125
財源	国庫	2,555	2,667	2,685
	県費	1,366	1,451	1,451
	市債	0	0	0
	その他	3,004	3,140	3,140
	一般財源	5,567	5,867	5,849

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	32	目標値	41	46	50	-	-
		単位：件 実績値	45				
活動指標	300	目標値	250	260	270	-	-
		単位：回 実績値	149				
活動指標	73	目標値	70	75	80	-	-
		単位：回 実績値	18				
		目標値					
		単位： 実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	12,492千円	令和3年度決算額	7,286千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 介護予防普及啓発事業 300回、地域介護予防活動支援事業 368回 地域リハビリテーション活動支援事業 73回 令和2年度 介護予防普及啓発事業 90回、地域介護予防活動支援事業 7回 地域リハビリテーション活動支援事業 28回 令和3年度 介護予防普及啓発事業 141回、地域介護予防活動支援事業 12回 地域リハビリテーション活動支援事業 18回			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	今後さらに高齢者人口の増加が見込まれているなか、生きがいや役割を持って生活できるよう、身近な地域での住民主体の活動を支援している。					
課題	withコロナ・afterコロナを前提に継続して活動できるよう支援が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づくとともに、withコロナ・afterコロナを前提においた実施方法等の検討を行い、「通いの場」参加者の定着を図る。					
令和5年度事業計画	元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 介護支援ボランティア					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	65	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護特別会計	包括的支援事業			67,724 千円	67,374千円	85,220 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_地域包括支援センターの機能充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が住み慣れた地域で、活動的、かつ尊厳あるその人らしい生活を継続していけるよう、地域包括支援センターを「地域包括ケアシステム」を推進する中核機関として、日常生活圏域ごとに4か所設置し、保健・医療・福祉に関する相談、高齢者の権利擁護のために必要な支援、関係機関とのネットワーク構築等を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
地域包括支援センターや保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、引き続き業務を推進する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託 高齢者あんしん相談センター新橋委託 高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託 高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託		高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託 高齢者あんしん相談センター新橋委託 高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託 高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託 高齢者あんしん相談センター新橋委託 高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託 高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託	
	事業費	85,220	85,218	85,218	
	財源	国庫	32,809	32,808	32,808
		県費	16,404	16,404	16,404
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	36,007	36,006	36,006	

### 【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	総合相談支援業務（高齢者いきいきプラン）	3,900 単位：件	目標値	4,100	4,250	4,400	-	-
			実績値	3,835				
活動指標	権利擁護業務（高齢者いきいきプラン）	74 単位：件	目標値	170	190	210	-	-
			実績値	73				
活動指標	包括的継続的ケアマネジメント支援業務（高齢者いきいきプラン）	207 単位：件	目標値	180	200	220	-	-
			実績値	167				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	85,220千円	令和3年度決算額	84,890千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 3,900件、権利擁護業務 74件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 207件 令和2年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 3,807件、権利擁護業務 88件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 135件 令和3年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 3,835件、権利擁護業務 73件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 167件			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者を取り巻く問題が複雑化、多様化している中、できる限り住み慣れた地域で住み続けられるよう、継続的な支援を行っている。					
課題	少子高齢化の進展等に伴い、独居高齢者や高齢者2人世帯、高齢者とその子どもとの2人暮らし等の世帯が増え、また、地域とのつながりが希薄化し、地域とのつながりを拒否するケースもある。そのため、サービスにつながりにくい、サービスにつながるまでに時間を要するなど、多職種の介入が必要な困難ケースも増加している。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、地域における相談体制を強化する。					
令和5年 度事業計 画	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託 高齢者あんしん相談センター新橋委託 高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託 高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	66	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
介護特別会計	任意事業		1,373 千円	699千円	938 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続していけるよう、高齢者やその家族を支援するための事業。在宅で介護をしている家族に対し、適切な介護知識や技術の習得により、在宅生活の継続向上を図る家族介護支援事業、認知症の人や家族を見守る地域づくりを推進する認知症サポーター養成講座等を実施している。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
家族介護支援教室の開催、認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業を実施する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	家族介護支援教室の開催 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ 講座の開催 介護保険住宅改修理由書作成助成 金交付事業の普及啓発		家族介護支援教室の開催 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ 講座の開催 介護保険住宅改修理由書作成助成 金交付事業の普及啓発 成年後見制度利用者補助	家族介護支援教室の開催 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ 講座の開催 介護保険住宅改修理由書作成助成 金交付事業の普及啓発 成年後見制度利用者補助
	事業費	938	2,831	2,831
財源	国庫	361	1,089	1,089
	県費	180	544	544
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	397	1,198	1,198

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 認知症サポーター養成講座修了者数 (累計) (高齢者いきいきプラン)	5,906	目標値	6,200	6,500	6,800	-	-
	単位：人	実績値	6,100				
活動指標 認知症サポーターステップアップ講座 修了者数(累計) (高齢者いきいき プラン)	37	目標値	55	70	85	-	-
	単位：人	実績値	58				
		目標値					
		単位：回	実績値				
		目標値					
		単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	938 千円	令和3年度決算額	143 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 家族介護支援事業 11回、認知症サポーター養成講座 40回、 認知症サポーターステップアップ講座 1回 高齢者住宅改修等支援補助事業 5件 介護保険住宅改修理由書作成助成 5件 令和2年度 家族介護支援事業 1回、認知症サポーター養成講座 14回、 認知症サポーターステップアップ講座 1回 高齢者住宅改修等支援補助事業 廃止 介護保険住宅改修理由書作成助成 12件 令和3年度 家族介護支援事業 1回、認知症サポーター養成講座 10回、 認知症サポーターステップアップ講座 1回 オレンジサポーター養成 14人 介護保険住宅改修理由書作成助成 10件			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるよう、本人や家族を見守る地域づくりのための支援を行っている。					
課題	認知症サポーターは毎年増えているが、一方で認知症サポーターからステップアップしたオレンジサポーターの活動場所が限られているため、オレンジサポーターを生かす場についても検討する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、事業を継続する。 認知症サポーターステップアップ講座実施により、オレンジサポーターを育成し、活用していく。					
令和5年度事業計画	家族介護支援教室の開催 認知症サポーター養成講座の開催 認知症サポーターステップアップ講座の開催 介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業の普及啓発 成年後見制度利用者補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	67	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護特別会計	在宅医療・介護連携推進事業			11,471 千円	9,784千円	13,753 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために医療や介護関係者等の連携を推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
在宅医療介護連携相談センターたておうに委託し、介護事業所に対するアンケート調査、ケアマネの集い・たておう研修会・市町民向け公開講座を実施する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておう委託）	在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておう委託）	在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておう委託）
事業費		13,753	13,755	13,755
財源	国庫	2,073	2,069	2,069
	県費	1,036	1,034	1,034
	市債	0	0	0
	その他	8,368	8,380	8,380
	一般財源	2,276	2,272	2,272

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	相談件数（高齢者いきいきプラン）	目標値	373	433	497	-	-
		実績値	517				
活動指標	相談センターたておう研修会（高齢者いきいきプラン）	目標値	9	10	11	-	-
		実績値	8				
活動指標	市町民公開講座（高齢者いきいきプラン）	目標値	1	1	1	-	-
		実績値	1				
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	13,753 千円	令和3年度決算額	11,473 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	平成29年4月より一市五町で館林市邑楽郡医師会に業務委託し、医師会内に「在宅医療介護連携相談センターたておう」が開設された。 ※一市五町での実績			
	令和元年度			
	相談件数 延346件	研修会開催 2回	ケアマネサロン開催 3回	
	市町民公開講座等 2回			
令和2年度				
相談件数 延334件	研修会開催 1回	ケアマネサロン開催 3回		
市町民公開講座等 0回 (新型コロナウイルス感染症拡大により中止)				
令和3年度				
相談件数 延517件	研修会開催 2回	ケアマネサロン開催 6回		
市町民公開講座等 1回				

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者が住み慣れた地域で人生の最後まで住み続けることができるようにするためには、在宅医療・介護連携の取組が非常に重要である。多職種連携を推進するための研修会や、住民への普及啓発のための公開講座は計画通りに実施できており、参加者の意見・感想はほぼ肯定的なものとなっている。					
課題	地域の限られた資源の中で、在宅医療・介護連携を推進するため幅広いテーマでの活動・多職種連携が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、相談内容から見える課題の抽出や対応策の検討を通して、在宅医療・介護連携の取組を進めていく。					
令和5年度事業計画	在宅医療・介護連携推進事業 (在宅医療介護連携相談センターたておう委託)					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	68	重要事業		総合戦略		担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
介護特別会計	生活支援体制整備事業			3,576 千円	3,435千円	4,009 千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_住民主体の生活支援が行われる地域づくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	医療や介護保険サービスの提供だけでなく、NPO法人、ボランティア、社会福祉法人、寿連合会、シルバー人材センター、民間企業等、生活支援を担う多様な主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図る。(協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置)
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
館林市社会福祉協議会に委託となって2年目となるため、地域資源の掘り起こしや生活支援サービスの創出等を積極的に推進していく。	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)	生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)	生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)
事業費		4,009	3,902	3,902
財源	国庫	1,543	1,502	1,502
	県費	771	751	751
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,695	1,649	1,649

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	協議会開催回数（高齢者いきいきプラン）	66	目標値	40	40	47	-	-
		単位：回	実績値	49				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,009 千円	令和3年度決算額	3,876 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	平成30年度 (市直営、協議体数：1層1か所・2層6か所、生活支援コーディネーター：1層市職員1人・2層会計年度任用職員3人) 地域包括ケアシステムに関する講演会や協議体同士の交流会を開催。第1層協議体で集約したニーズをもとに、生活支援サービスの創出について検討する定例会を毎月開催。第2層協議体を6地区設置し、定例会を毎月開催しており、2地区につき1名の第2層協議体生活支援コーディネーターを配置した。 令和元年度 (市直営、協議体数：1層1か所・2層6か所、生活支援コーディネーター：1層会計年度任用職員1人・2層会計年度任用職員3人) 第1層協議体に生活支援コーディネーターを専属で配置し、主に移送支援についてテーマを絞って協議を進めた。その結果を提言書としてまとめ、市長や交通部局とのニーズ共有を図った。 令和2年度 (社協委託、協議体数：1層1か所・2層8か所、生活支援コーディネーター：1層社協職員1人・2層支部長8人) 社会福祉協議会へ事業委託開始。社協支部を2層協議体とし8か所で活動。 令和3年度 (社協委託、協議体数：1層1か所・2層8か所、生活支援コーディネーター：1層社協職員1人・2層支部長8人)			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	各地域の状況に応じた協議体活動を推進し、住民のニーズに合った地域資源の掘り起こしや生活支援サービスの創出を行うために、検討を重ねている。
課題	市と生活支援コーディネーターが連携し、地域の実情に応じた協議体活動を展開していく必要がある。住民主体の支え合いの仕組みづくりを推進するために、地域での担い手を養成していく必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	事業を継続し、地域の課題をサービスの創生につなげていく。
令和5年度事業計画	生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	69	重要事業	○	総合戦略		担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
介護特別会計	認知症総合支援事業			6,885 千円	3,190千円	5,847 千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_認知症支援体制の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	認知症になっても本人の意向が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、早期診断・早期対応に向けた支援を行ったり、医療機関や介護サービス関係者等との連携を図り、認知症またはその疑いのある人やその家族に対する支援を行う。(認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェ等)
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ等の認知症関係事業や認知症の相談窓口の周知の徹底を行う。認知症カフェは、だれでも参加できるように、ショッピングモール等、利便性を考慮した会場で開催する。	

### 【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営		認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置	認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置
事業費		5,847	4,524	4,524
財源	国庫	2,248	1,739	1,739
	県費	1,124	869	869
	市債	0	0	0
	その他	6	6	6
	一般財源	2,469	1,910	1,910

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	認知症初期集中支援推進事業支援依頼 件数	8	目標値	10	10	11	12	13
	単位：		実績値	1				
活動指標	認知症地域支援推進員の配置	1	目標値	2	3	4	4	5
	単位：人		実績値	5				
活動指標	認知症カフェの開催 (高齢者いきいき プラン)	22	目標値	24	24	24	-	-
	単位：回		実績値	13				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	5,847千円	令和3年度決算額	4,234千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 認知症初期集中支援チームの設置 3チーム ・つつじメンタルホスピタル(2) ・公立館林厚生病院・地域包括支援センター(1) 認知症地域支援推進員の配置 1名(市) 認知症カフェの開催 22回 令和2年度 認知症初期集中支援チームの設置 3チーム ・つつじメンタルホスピタル(2) ・公立館林厚生病院・地域包括支援センター(1) 認知症地域支援推進員の配置 1名(市) 認知症カフェの開催 9回 令和3年度 認知症初期集中支援チームの設置 2チーム ・つつじメンタルホスピタル(2) 認知症地域支援推進員の配置 5名(市1名、地域包括支援センター4か所に各1名) 認知症カフェの開催 13回 認知症関係講演会 新型コロナウイルスの感染拡大により開催できず			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢化の進展により、今後も、認知症高齢者の増加が見込まれているなかで、市や各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員を中心に、関係者と連携を図りながら、効果的な支援を行っている。					
課題	認知症高齢者の増加に伴い、認知症地域支援推進員への相談内容が多様化している。また、認知症初期集中支援対象者は困難ケースで、チーム支援終了後も長期に支援が必要な場合が多い。今後、対象ケースの支援を円滑に進めていくためにも関係機関との情報共有や更なる連携が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、認知症地域支援推進員を中心に、認知症普及啓発活動の充実を図る。					
令和5年 度事業計 画	認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	70	重要事業		総合戦略		担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
介護特別会計	地域ケア会議推進事業			57 千円	1千円	57 千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_地域包括ケア会議の活性化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、保健、医療、介護、福祉、住まい及び生活のための支援を包括的に推進するため館林市地域包括ケア会議（以下「地域包括ケア会議」という。）を設置する。地域包括ケア会議は、地域ケア推進会議及び地域ケア個別会議で構成する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
地域ケア推進会議については、地域の実情に応じた課題に取り組めるような仕組みを構築する。地域ケア個別会議については、「自立支援型ケア会議」の充実を図っていく。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議	地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議	地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議
事業費		57	56	56
財源	国庫	21	21	21
	県費	10	10	10
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	26	25	25

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	地域包括ケア会議開催回数（高齢者いきいきプラン）	19	目標値	15	17	19	-	-
			実績値	14				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	57千円	令和3年度決算額	9千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 全体会議 1回 個別ケア会議 18回 (自立支援型個別ケア会議・徘徊高齢者個別ケア会議を含む) 令和2年度 全体会議 1回 個別ケア会議 9回 (自立支援型個別ケア会議・徘徊高齢者個別ケア会議を含む) 令和3年度 全体会議 1回(書面会議) 地域ケア個別会議 13回(個別ケース検討会議・自立支援型個別ケア会議・徘徊高齢者支援会議)			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢化、核家族化、認知症高齢者の増加等により、問題が複雑化しており、解決策に結びつくまでに時間を要するケースや、多職種での関与が必要なケースが多くなっているが、継続した支援を行っている。					
課題	地域ケア推進会議については、地域ケア個別会議より抽出された地域課題から必要な社会資源や地域づくりに向けて協議を図り、また、地域課題に対応していくため、庁内や多機関との連携体制の整備が必要である。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	高齢者いきいきプランに基づき、事業を継続していく。 地域ケア個別会議については、困難事例の検討のみでなく、理学療法士や管理栄養士等の専門職が参加し、高齢者の自立支援や重度化防止が図られるよう引き続き支援していく。					
令和5年度事業計画	地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	71	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・2	在宅福祉サービス事業			47,902 千円	48,927千円	48,162 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域生活支援拠点などの整備
	▶4_精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	在宅の障がい者（児）やその家族が、地域で安心して自立した生活が送れるよう各種福祉サービス事業を推進し、福祉の増進を図る。
----------------	--

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業  
腎臓機能障がい者等が人工透析療法等による医療の給付を受けるため、医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。
- ②心身障がい者扶養共済制度  
障がいのある方を育てている保護者が毎月掛金を納めることで、保護者が亡くなった時などに、障がいのある方に対し、一定額の年金を生涯支給する制度。
- ③特別障がい者手当等給付事業  
精神又は身体に重度の障がいを有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の者に手当を支給する。
- ④特別児童扶養手当事務事業  
20歳未満で精神又は身体に障がいを有する児童を家庭で監護、養育している父母等に手当を支給する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 ⑧地域生活支援拠点等事業	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 ⑧地域生活支援拠点等事業
	事業費	48,162	48,162	48,162
財源	国庫	26,579	26,579	26,579
	県費	1,235	1,235	1,235
	市債	0	0	0
	その他	10,163	10,163	10,163
	一般財源	10,185	10,185	10,185

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
	単位：%		実績値	47.7				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	48,162 千円	令和3年度決算額	49,816 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 【支給対象者】 令和元年度 83人    令和2年度 98人    令和3年度 101人 ②心身障がい者扶養共済制度 【加入者】        令和元年度 24人    令和2年度 22人    令和3年度 17人 【年金受給者】 令和元年度 31人    令和2年度 32人    令和3年度 32人 ③特別障がい者手当等給付事業 【支給対象者】 令和元年度 133人    令和2年度 133人    令和3年度 134人 ④特別児童扶養手当事務事業 【支給対象者】 令和元年度 139人    令和2年度 140人    令和3年度 138人 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 【参加者】        令和元年度 3人    令和2年度 0人    令和3年度 0人 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 【相談件数】     令和元年度 7件    令和2年度 7件    令和3年度 2件 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 【虐待保護件数】 令和元年度 0件    令和2年度 0件    令和3年度 0件			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高    政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中    政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低    目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高    成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中    適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低    成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高    費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中    適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低    費用対効果が低水準にある
評価根拠	在宅で生活する障がい者やその家族が、安心して安定した日常生活が送れるよう関係機関と連携し、また家族の介護等の負担軽減のための支援となるため。
課題	サービスによっては利用者が少ないものもあり、在宅の障がい者やその家族が、地域で安心して自立した生活を送るために、広く市民に周知する必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	継続して在宅の障がい者（児）やその家族が、地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉の増進を図る。
令和5年度事業計画	障がい児親子すこやか教室、障がい者虐待防止対策支援事業、心身障がい者扶養共済制度、腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業、認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業補助、特別障がい者手当等給付事業、特別児童扶養手当事務事業
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小    ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	72	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・2	施設対策事業		646 千円	661千円	697 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会福祉施設整備に係る資金を融資機関から借り入れた民間事業者等に対し、その支払利子の一部を補助し、民間社会福祉事業の振興を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 社会福祉法人、宗教法人、特定非営利活動法人に対し、社会福祉施設整備に係る資金を独立行政法人福祉医療機構、群馬県社会福祉協議会、日本政策金融公庫及び市中金融機関から借り入れたとき、その利子の一部を補助する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：4法人		①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	
	事業費	697	697	697	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	697	697	697	

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービスの満足度	47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
		単位：%	実績値	47.7				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	697 千円	令和3年度決算額	1,084 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 利子補助利用 令和元年度：3法人 令和2年度：4法人 令和3年度：4法人			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	民間社会福祉事業の振興を図り、社会福祉施設整備の促進のため。					
課題	広く周知する必要がある。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	継続して、社会福祉施設整備に係る資金を融資機関から借り入れた民間事業者等に対し、その支払利子の一部を補助し、民間社会福祉事業の振興を図る。					
令和5年度事業計画	民間社会福祉施設整備資金利子補助利用 5法人					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	73	重要事業		総合戦略		担当部署	社会福祉課	障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
3・1・2	障がい認定調査事業			733 千円	837千円	733 千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分の認定調査を行う。
----------------	-------------------------------

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①障がい認定調査事業  
障がい支援区分認定調査時の旅費、医師意見書の作成手数料及び遠隔地調査の委託料

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①障がい認定調査事業 件数：約160件		①障がい認定調査事業 件数：約175件	①障がい認定調査事業 件数：約190件
事業費		733	733	733
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	733	733	733

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	障がい認定調査件数	目標値	160	175	190	165	180
		実績値	168				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	733 千円	令和3年度決算額	668 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 障がい認定調査件数 令和元年度：175件 令和2年度：190件 令和3年度：168件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がい支援区分認定調査のため。					
課題	遠方の2施設（北海道小樽市、青森県青森市）においては、旅行が困難なため認定調査を委託しているが、他の県外、県内においても、かなり遠い施設もあるため、職員の負担となっているのが課題である。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	継続して障害者総合支援法に規定する障がい支援区分の認定調査を行う。					
令和5年度事業計画	障がい認定調査 約150件					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	74	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・2	障がい者自立支援事業			1,194,445 千円	1,649,277千円	1,364,688 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、地域社会の共生に向けて、障がいのある方が、日常生活及び社会生活を安心して営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの給付をするもの。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①介護給付費  
居宅介護、短期入所、生活介護、施設入所支援、療養介護など介護系サービスを利用した際に介護給付費を支給する。
- ②訓練等給付費  
機能の維持・向上や就労支援等のための訓練を受けた場合に訓練等給付費を支給する。
- ③障がい児給付費  
障がい児通所支援給付費及び相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成費を支給する。
- ④補装具費  
身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期間にわたり継続して使用される義肢・装具・車いす等の購入費及び修理費を支給する。
- ⑤療養介護医療費  
病院等の医療機関に長期間入院している障がい者で、医療と併せて常時介護を必要とする方に対しサービスを提供し、療養介護サービスの一環として提供される医療行為については、療養介護医療費として支給する。
- ⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）  
心身の障がい除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できるものに対して提供される、更生・育成のために必要な自立支援医療費を支給する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①介護給付費 ②訓練等給付費 ③障がい児給付費 ④補装具費 ⑤療養介護医療費 ⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）	①介護給付費 ②訓練等給付費 ③障がい児給付費 ④補装具費 ⑤療養介護医療費 ⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）	①介護給付費 ②訓練等給付費 ③障がい児給付費 ④補装具費 ⑤療養介護医療費 ⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）
	事業費	1,364,688	1,364,688	1,364,688
財源	国庫	680,885	680,885	680,885
	県費	341,020	341,020	341,020
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	342,783	342,783	342,783

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
	単位：%		実績値	47.7				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,364,688 千円	令和3年度決算額	1,810,670 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護給付費                      令和元年度：5,035件、令和2年度：4,893件、令和3年度：4,871件</li> <li>・ 訓練等給付費                      令和元年度：2,714件、令和2年度：2,984件、令和3年度：3,533件</li> <li>・ 障がい児給付費                      令和元年度：4,130件、令和2年度：4,944件、令和3年度：5,585件</li> <li>・ 補装具費                      令和元年度： 118件、令和2年度： 99件、令和3年度： 103件</li> </ul>			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障害福祉サービスの給付のため。					
課題	障害福祉サービスの利用増による財源確保					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	継続して障がいのある方が、日常生活及び社会生活を安心して営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの給付を行う。					
令和5年度事業計画	介護給付費、障害福祉サービス利用給付金事業、訓練等給付費、障がい児給付費、サービス利用計画作成費、補装具費、難聴児補聴器費、療養介護医療費、更生医療費、育成医療費					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	75	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・1・2	地域生活支援事業			95,532 千円	79,596千円	91,646 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_基幹相談支援センターの設置
	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者（児）が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施し、福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①相談支援事業 障がい者及びその介護を行う方からの相談に応じ、必要な情報の提供をしたり、権利擁護のために必要な援助を行う。	
②日中一時支援事業 障がい者を施設等で一時的に預かり、日中活動の場の提供や見守り、日常的な訓練等を行う。	
③地域活動支援センター事業 就労が困難な障がい者に対し、創作的活動や生産活動の機会、地域との交流の場を提供する。	
④日常生活用具給付費等事業 障がい者に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業	①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業	①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業
事業費		91,646	91,646	91,646
財源	国庫	20,847	20,847	20,847
	県費	13,413	13,413	13,413
	市債	0	0	0
	その他	2,365	2,365	2,365
	一般財源	55,021	55,021	55,021

### 【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	相談支援専門員数	13	目標値	15	17	18	19	20
		単位：人	実績値	21				
総合計画指標	障がい福祉サービスの満足度	47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
		単位：%	実績値	47.7				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	91,646 千円	令和3年度決算額	79,835 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援事業                      令和元年度：4,342件、令和2年度：5,232件、令和3年度：5,500件</li> <li>・ 地域活動支援センター事業                      令和元年度：45人、令和2年度：43人、令和3年度：42人</li> <li>・ 日常生活用具給付費                      令和元年度：171人、令和2年度：179人、令和3年度：211人</li> <li>・ 日中一時支援事業（登録・サービス）                      令和元年度：46人、令和2年度：41人、令和3年度：35人</li> </ul>			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	障がいのある方の地域における生活を支えるため、障がいの特性や、利用者の状況に応じた柔軟なサービスを、効率的・効果的に行っている。 今後も引き続き、障がいのある方が必要とするサービスを提供できるよう、事業の整備に取り組む。			
課題	生命を維持するために必要なケアを始め、誰もが安心して豊かに生活するためのサポートまで、広く日常生活を支えるサービスの提供が求められている。			
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	継続して障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。			
令和5年度事業計画	知的障がい者職親、相談支援事業、移動支援事業、福祉ホーム事業、日中一時支援事業、地域活動支援センター事業、生活支援サポート事業、点字広報・声の広報等発行事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、手話通訳者養成研修事業、入浴サービス事業、医療的ケア支援事業、市外サービス利用負担金、身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助、日常生活用具給付費、地域生活支援事業利用者負担助成金、成年後見制度利用支援事業、在宅血液透析患者支援事業			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較
備考				

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	76	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・2	重症心身障がい者等短期入所支援事業		716 千円	0千円	716 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	在宅で重症心身障がい者等を介護する家族の、精神的・肉体的負担の軽減を図るため、館林厚生病院が実施する短期入所支援事業に対し、その経費の一部を補助する。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①重症心身障がい者短期入所支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援員等派遣事業委託料</li> </ul> 利用者が普段利用し、慣れ親しんでいる居宅介護の介護士等を短期入所中に派遣し、在宅時に近い状況での介護を提供することで、利用時の不安を軽減し、かつ介護面でのサービスの質的向上を図る。
・短期入所報酬差額補助事業補助金	入院診療報酬と短期入所の介護給付費の報酬の差額（20,000～30,000円程度）を補助する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金	①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金	①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金
	事業費	716	716	716
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	716	716	716

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービスの満足度	47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
		単位：%	実績値	47.7				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	716千円	令和3年度決算額	0千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・利用者数 令和元年度：なし、令和2年度：なし、令和3年度：なし			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域内に緊急時やレスパイト（介護者の休息、息抜き）を目的とした短期入所事業をおこなえる施設は、邑楽館林地域で暮らす重症心身障がい者等を介護する家族等が安心して地域で生活をする上で、必要不可欠である。 これまで、他県や地域外の施設を利用してきた家族等の強い要望もあることから、今後も利用しやすい環境づくりに努める必要がある。					
課題	本事業は平成24年5月に1市5町の首長の連名により館林厚生病院へ提出された要望書を受けて、平成27年度より事業を開始し、これまで3名の方が延べ7回利用している。利用対象者は館林市9名、5町8名の合わせて17名（R3.4月現在）であるが、利用率は伸びていない状況にある。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	継続して在宅で重症心身障がい者等を介護する家族の精神的・肉体的負担の軽減を図るため、館林厚生病院が実施する短期入所支援事業に対し、その経費の一部を補助する。					
令和5年度事業計画	・介護支援員等派遣事業委託 2人 ・短期入所報酬額補助事業補助 2人					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	77	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
3・1・2	発達障がい者支援事業			9,802 千円	6,078千円	9,497 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_児童発達支援センターの設置

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	発達障がい者が地域で安心して生活していくことができるように、発達障がい者の乳幼児期からの各ライフステージに応じ、一貫した支援体制を整備し、社会全体で発達障がい者を支える仕組みを充実させる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<b>発達障がい者支援事業【重要事業】</b> ①人材育成支援事業 早期療育等の指導者、保健師、保育士、教諭など当事者とかかわる人材を育成するため、研修・講演会を開催するとともに、各ライフステージにおける一貫した技術支援が行える指導者を養成する。 ②地域啓発事業 発達障がいについて、市民や企業等の地域住民が理解を深めるための講演会を開催するとともに、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間でイベントを行う。 ③早期発達支援事業 効果の検証された科学的根拠に基づく療育を行うことができるNPO法人に業務委託し、自閉スペクトラム症の対応に不安を抱える親子への個別支援を実施する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		発達障がい者支援事業【重】 ①人材育成支援事業 ②地域啓発事業 ③早期発達支援事業	発達障がい者支援事業【重】 ①人材育成支援事業 ②地域啓発事業 ③早期発達支援事業	発達障がい者支援事業【重】 ①人材育成支援事業 ②地域啓発事業 ③早期発達支援事業
事業費		9,497	9,497	9,497
財源	国庫	1,591	1,591	1,591
	県費	89	89	89
	市債	0	0	0
	その他	6	6	6
	一般財源	7,811	7,811	7,811

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
	単位：%		実績値	47.7				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	9,497千円	令和3年度決算額	6,158千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成支援研修会 令和元年度：4回 238人参加、令和2年度：1回 20人参加、令和3年度：5回 105人参加</li> <li>・早期発達支援事業 令和元年度：56児童 413回、令和2年度：37児童 266回、令和3年度：56児童 242回</li> <li>・市民講演会 令和元年度： 550人参加、令和2年度：コロナのため中止、令和3年度：コロナのため中止</li> <li>・自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 令和元年度： 400人参加、令和2年度：コロナのため中止、令和3年度：240人参加</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	発達障がい者支援に対するニーズは増しており、館林市の診断数も年々増えてきている現状がある。ライフステージに応じた支援がスムーズに行えるように、今後も社会資源の洗い出しや連携の仕方、支援体制の整備をしていく必要がある。また、啓発活動などを通じて、発達障がいへの理解を促し、地域全体で支えていく意識を高めなければならない。					
課題	乳幼児発達相談で診断告知を受ける児童が多く、また、本来の医療機関での診断もあり、毎年約50名にのぼる。それにより、相談者が増加し、相談支援専門員不足が課題である。さらに、障がい児給付費（扶助費）増による財源不足と課題が多い。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	継続して発達障がい者が地域で安心して生活していくことができるように、各ライフステージに応じ、一貫した支援を行っていく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成支援研修会 3回</li> <li>・市民講演会（地域啓発等研修会） 1回</li> <li>・自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間イベント</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	78	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・3	街づくり計画推進事業			1,414 千円	309千円	4,937 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者の住みよい街づくりと社会参加を推進するための事業
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 館林市附属機関設置条例に基づく附属機関として毎年会議を開催する。 ・第四次館林市障がい者計画の策定（令和4年度～令和8年度）</p> <p>②手話施策推進会議の開催 館林市きずなを結び共に育む手話言語条例に基づく附属機関として毎年会議を開催する。 ・手話施策推進方針の施策の推進状況の検証</p> <p>③手話によるつつじガイドの実施 手話施策推進方針に基づき、つつじまつりの際に手話ガイドを行う。</p> <p>④小中学校手話教室の推進 手話施策推進方針に基づき、小中学校での手話教室の全校実施を目標とする。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 ②手話施策推進会議の開催 ③手話によるつつじガイドの実施 ④小中学校手話教室の推進 ⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 ②手話施策推進会議の開催 ③手話によるつつじガイドの実施 ④小中学校手話教室の推進 ⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 ②手話施策推進会議の開催 ③手話によるつつじガイドの実施 ④小中学校手話教室の推進 ⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施
事業費		4,937	4,937	4,937
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,937	4,937	4,937

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	推進協議会及び推進会議の開催回数	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,937 千円	令和3年度決算額	2,627 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者の住みよい街づくり推進協議会                      令和元年度：1回開催、令和2年度：1回開催（書面開催）、令和3年度：2回開催</li> <li>・ 手話施策推進会議                      令和元年度：1回開催、令和2年度：2回開催（2回目は書面開催）、令和3年度：中止</li> </ul>			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がい者の住みよい街づくりを推進するため。					
課題						
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	継続して障がい者の住みよい街づくりと社会参加を推進していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催</li> <li>・ 手話施策推進会議の開催</li> <li>・ 手話によるつつじガイドの実施</li> <li>・ 小中学校手話教室の推進</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	79	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・3	福祉サービス事業			8,706 千円	7,682千円	8,341 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域で生活する障がい者や介護者に対する各種見舞金等の支給や、社会生活を営むうえで必要な知識や動作を習得するための各種講座等の開催により、自立更生を支援する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①特定疾患患者等見舞金支給事業 原因不明で治療法も確立されていない特定疾患々者と、小児慢性疾患々者に対し見舞金を支給する。</p> <p>②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 日常生活に著しい制限を受け厳しい生活を強いられている人工肛門、人工膀胱受術者及び腎臓機能障がい（透析患者）に対し、奨励金を支給する。</p> <p>③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 日常生活に著しく支障のある、在宅の重度知的障害者を介護するものに支給する。</p> <p>④身体障がい者教養講座の開催 視覚・聴覚障がい者が社会生活を営むうえで必要な知識や動作を取得するため、各種講座を開催する。</p>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助	①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助	①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助
	事業費	8,341	8,341	8,341
財源	国庫	32	32	32
	県費	16	16	16
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,293	8,293	8,293

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
	単位：%		実績値	47.7				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	8,341 千円	令和3年度決算額	7,327 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定疾患患者等見舞金                      令和元年度：27人、令和2年度：15人、令和3年度：30人</li> <li>・ 自立更生奨励金                      令和元年度：56人、令和2年度：69人、令和3年度：60人</li> <li>・ 在宅重度障がい者介護慰労金                      令和元年度：15人、令和2年度：15人、令和3年度：12人</li> <li>・ 身体障がい者教養講座                      令和元年度：延 102人参加、令和2年度：延 59人参加、令和3年度：延 106人参加</li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がい者及びその介護者が、継続して地域で生活する支援となるため。					
課題	制度の対象者に漏れがないように、対象者の確認を徹底するとともに、広く制度を周知する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	継続して地域で生活する障がい者や介護者に対して、見舞金等の支給や各種講座等を開催することにより、自立更生を支援する。					
令和5年 度事業計 画	身体障がい者教養講座、日常生活用自助具等購入費補助、保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料補助、障がい者歯科医療センター運営費補助、心臓病児手術見舞金、口蓋裂児歯列矯正手術見舞金、特定疾患患者等見舞金、自立更生奨励金、在宅重度障がい者介護慰労金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	80	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・3	生活環境整備事業			1,500 千円	0千円	1,500 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	上肢・下肢・体幹又は視覚に、重度の障がい有する者及び児童等が、住宅設備を障がい者に適するように改造する場合、その事業に要する経費の一部を補助する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金 玄関・台所・浴室・トイレなどの改造費用の一部を補助する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金	①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金	①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金
	事業費	1,500	1,500	1,500
財源	国庫	0	0	0
	県費	900	900	900
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	600	600	600

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	障がい福祉サービスの満足度	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
		単位：%	実績値	47.7			
		目標値					
		単位：	実績値				
		目標値					
		単位：	実績値				
		目標値					
		単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,500 千円	令和3年度決算額	500 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・住宅改造費補助件数 令和元年度：1件、令和2年度：0件、令和3年度：1件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	重度障がい者及び障がい児の数は増減するものの一定数おり、生活環境の充実を図るために本事業を継続し、事業を充実させる必要がある。					
課題	平成20年度より実施しているが、令和2年度までの累計は12件となっている。身体障がい者手帳交付時等に事業の説明を行っているが、他制度に類似の事業があることや手続きの手間等で受益者は少ない。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	継続して、上肢・下肢・体幹又は視覚に、重度の障がいを有する者及び児童等が、住宅設備を障がい者に適するように改造する場合、その事業に要する経費の一部を補助する。					
令和5年度事業計画	平成20年度より実施しているが、令和2年度までの累計は12件となっている。身体障がい者手帳交付時等に事業の説明を行っているが、他制度に類似の事業があることや手続きの手間等で受益者は少ない。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	81	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・7	障がい支援区分認定審査会運営			8,218 千円	6,768千円	7,593 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①障がい支援区分認定審査会の開催（年48回予定） 認定調査員（市職員）が訪問し、心身の状態や日常生活の様子などについて調査し、その調査結果に加え主治医の意見も総合して、認定審査会にて区分の判定を行う。審査会委員は24名、月に4回週1で開催予定。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①障がい支援区分認定審査会の開催		①障がい支援区分認定審査会の開催	①障がい支援区分認定審査会の開催
	事業費	7,593	7,593	7,593
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,856	1,856	1,856
	一般財源	5,737	5,737	5,737

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 認定審査会の開催回数	29	目標値	29	29	29	30	30
	単位：回	実績値	29				
		目標値					
		単位：					
		実績値					
		目標値					
		単位：					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,593 千円	令和3年度決算額	7,056 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 障がい支援区分認定審査会開催回数 令和元年度：30回、令和2年度：25回、令和3年度：29回 ・ 障がい支援区分認定審査判定件数 令和元年度：367件（うち館林市分159件） 令和2年度：350件（うち館林市分172件） 令和3年度：335件（うち館林市分129件）			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営のため。					
課題	5町の取りまとめに苦慮している。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営を継続する					
令和5年度事業計画	障がい支援区分認定審査会の開催（年48回予定）					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	82	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・8	障がい者総合支援センター運営			80,261 千円	80,175千円	81,614 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_障がい者総合支援センターの役割の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	総合的な障がい者福祉施設（在宅重度心身障がい者等デイサービス事業、地域活動支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障がいに関する相談支援事業）を運営することにより、地域で暮らす障がいのある方の社会参加の促進や生活支援のサポートの拠点とするとともに、災害発生時の避難体制の確立や、豊かな自然環境の下でのよりよい療育の場の提供なども行う。
----------------	--

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業  
在宅で生活する重度の障がい者に、日常生活訓練、機能回復訓練、創作、軽作業並びに食事介助等を行う。
- ②地域活動支援センター事業  
就労が困難な障がい者に対し、創作的活動や生産活動の機会、地域との交流の場を提供する。
- ③児童発達支援事業  
療育の観点から集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の児童に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。
- ④放課後等デイサービス事業  
学校に就学し、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められた障がい児に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。
- ⑤障がいに関する相談支援事業  
障がい者及びその介護を行うかたからの相談に応じ、必要な情報の提供を行う。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 ②地域活動支援センター事業 ③児童発達支援事業 ④放課後等デイサービス事業 ⑤障がいに関する相談支援事業	①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 ②地域活動支援センター事業 ③児童発達支援事業 ④放課後等デイサービス事業 ⑤障がいに関する相談支援事業	①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 ②地域活動支援センター事業 ③児童発達支援事業 ④放課後等デイサービス事業 ⑤障がいに関する相談支援事業
事業費		81,614	81,614	81,614
財源	国庫	5,584	5,584	5,584
	県費	6,172	6,172	6,172
	市債	0	0	0
	その他	1,500	1,500	1,500
	一般財源	68,358	68,358	68,358

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービスの満足度	47.7	目標値	51.8	53.9	55.9	58.0	60.0
		単位：%	実績値	47.7				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	81,614千円	令和3年度決算額	81,614千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅重度心身障がい者等デイサービス事業                      令和元年度：延 587人利用、令和2年度：延 551人利用、令和3年度：延 566人</li> <li>・地域活動支援センター事業                      令和元年度：延 3,173人利用、令和2年度：延 3,135人利用、令和3年度：延 2,965人</li> <li>・児童発達支援事業                      令和元年度：延 2,100人利用、令和2年度：延 1,947人利用、令和3年度：延 1,779人</li> <li>・放課後等デイサービス事業                      令和元年度：延 1,738人利用、令和2年度：延 1,605人利用、令和3年度：延 1,636人</li> </ul>		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	施設の設置目的を十分に理解した管理運営が行われている。職員の配置基準を超える人員配置や医療的ケアにも対応できる看護師等の配置のほか、挨拶と笑顔を接遇理念とする活力あふれる職員のひたむきな姿勢は、利用者や保護者との信頼関係の構築へ繋がっており非常に評価できる。		
課題	相談支援事業については、声に出ない利用者ニーズを先読みし、さらなるサービス向上に努めていく。また、地域に開かれた施設として、地域への情報発信や地域交流ができるよう自主事業の取り組む。		
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )		
	総合的な障がい者福祉施設（在宅重度心身障がい者等デイサービス事業、地域活動支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障がいに関する相談支援事業）を運営することにより、地域で暮らす障がいのある方の社会参加の促進や生活支援のサポートの拠点とするとともに、災害発生時の避難体制の確立や、豊かな自然環境の下でのよりよい療育の場の提供なども行う。		
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅重度心身障がい者等デイサービス事業</li> <li>・地域活動支援センター事業</li> <li>・児童発達支援事業</li> <li>・放課後等デイサービス事業</li> <li>・障がいに関する相談支援事業</li> </ul>		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較		
備考	第3期指定管理業務（R5年度からR9年度）：基幹相談支援センター設置を見据えて相談支援事業を強化していく。		



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	83	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課	介護保険係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護保険特別会計	保険給付費			6,548,348 千円	5,871,741千円	6,289,000 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	40歳以上65歳未満の医療保険加入者及び65歳以上の高齢者が、加齢に伴う疾病等で要支援又は要介護と認定された場合、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な介護サービスの給付を行う。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①居宅サービス……………自宅を中心に利用するサービスで、訪問介護や訪問看護等の「訪問系サービス」、通所介護（デイサービス）や通所リハビリ（デイケア）等の「通所系サービス」のほか、短期入所や福祉用具、住宅改修等のサービスがある。
- ②地域密着型サービス……市内に住んでいる方のみが利用できるサービスで、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護等のサービスがある。
- ③介護保険施設サービス…介護保険施設に入所して受けるサービスで、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等がある。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①居宅サービス ②地域密着型サービス ③介護保険施設サービス		①居宅サービス ②地域密着型サービス ③介護保険施設サービス	①居宅サービス ②地域密着型サービス ③介護保険施設サービス
	事業費	6,289,000	6,521,105	6,658,067
財源	国庫	1,354,361	1,372,871	1,433,841
	県費	902,730	940,782	955,706
	市債	0	0	0
	その他	1,698,019	1,760,685	1,797,666
	一般財源	2,333,890	2,446,767	2,470,854

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	6,289,000 千円	令和3年度決算額	5,903,160 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	保険給付実績 ■ 居宅サービス利用数 令和元年度 78,140件 令和2年度 78,550件 令和3年度 80,698件 ■ 地域密着型サービス利用数 令和元年度 5,463件 令和2年度 5,606件 令和3年度 5,994件 ■ 介護保険施設サービス利用数 令和元年度 7,139件 令和2年度 7,343件 令和3年度 7,538件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	3事業とも介護保険制度に不可欠なサービスで、概ね過去と同様の事業実績で同水準のサービスが提供できたと評価したため。					
課題	介護給付を必要としている被保険者が、適正な介護サービスを事業者から受給できるように、保険者として給付適正化事業（ケアプラン点検、縦覧点検等）を効果的に実施する必要がある。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	介護保険財政の健全性を確保しながら、介護保険事業の推進体制の整備充実を図る。					
令和5年度事業計画	①居宅サービス……自宅を中心に利用するサービスで、訪問介護や訪問看護等の「訪問系サービス」、通所介護（デイサービス）や通所リハビリ（デイケア）等の「通所系サービス」のほか、短期入所や福祉用具、住宅改修等のサービスがある。 ②地域密着型サービス……市内に住んでいる方のみが利用できるサービスで、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護等のサービスがある。 ③介護保険施設サービス…介護保険施設に入所して受けるサービスで、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等がある。					
予算規模見込み						
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	84	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課 調査認定係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護保険特別会計	介護認定審査会費			21,840 千円	18,946千円	23,199 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	介護認定審査会を共同で設置し、館林市・邑楽郡内の審査判定の公平性、効率化を図る。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

介護認定審査会………館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の一市五町で共同設置により運営する。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	介護認定審査会の実施		介護認定審査会の実施	介護認定審査会の実施
事業費		23,199	23,199	23,199
財源	国庫	577	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	11,832	11,457	11,457
	一般財源	10,790	11,742	11,742

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	23,199 千円	令和3年度決算額	20,510 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 判定件数 令和元年度：6, 394 件 令和2年度：4, 717 件 令和3年度：6, 123 件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定審査会の運営主体は、介護保険法等の規定により市町村、または複数の市町村が共同で実施しなければならず、不可欠な事業である。</li> <li>・ 5町と共同設置しており、連携し計画的な審査会運営が図られている。</li> </ul>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護認定審査会は、保健、医療、福祉に関する学識経験者48名、8合議体の構成となっているが、引き続き継続して行っていくためには審査会委員を確保していく必要がある。</li> <li>・ コロナ禍や市外から出席の委員（特に医師）の移動時間削減を考え、書面のほかにリモートでの開催を検討していく必要がある。</li> </ul>					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止                       ( <input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	公平公正な要介護認定を行うため、介護認定審査会は継続して行っていく必要があり、引き続き5町と連携を図りながら計画的な審査会運営を行っていく。					
令和5年度事業計画	介護認定審査会………館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の一市五町で共同設置により運営。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	85	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課 調査認定係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
介護保険特別会計	認定調査等費			28,721 千円	18,010千円	30,810 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	要介護認定・要支援認定申請者に対する要介護認定調査を実施し、申請者の主治医に対し、疾病の状況などに係わる意見書を求め、認定審査会に審査判定を依頼し認定する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

要介護認定調査……申請者の状況を確認するため、認定調査を実施する。

要介護認定事務……申請者の状況（訪問調査結果・主治医意見書）をもとに認定審査会において審査判定を行い、要介護認定をする。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	要介護認定調査の実施		要介護認定調査の実施	要介護認定調査の実施
	要介護認定の実施		要介護認定の実施	要介護認定の実施
事業費		30,810	30,810	30,810
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	11	11	11
	一般財源	30,799	30,799	30,799

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	30,810 千円	令和3年度決算額	25,315 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■申請件数(新規・変更・更新) 令和元年度: 3, 130件 令和2年度: 2, 258件 令和3年度: 3, 297件			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・介護認定調査及び介護認定事務は、介護サービスを利用するために不可欠な事業である。 ・新規申請・変更申請の認定調査は市町村職員が行うこととなっており、更新申請については居宅介護支援事業所の介護支援専門員への委託ができるため、可能な範囲で認定調査を行ってもらうことができた。 ・認定調査員6名のうち3名を再任用職員と会計年度任用職員とすることで人件費削減ができています。					
課題	高齢者の人口増加に伴い、要介護認定者の増加も見込まれることから、更新申請の認定調査の委託件数も増やしていきたいが、事業所が本来業務で多忙を極めており委託件数を増やすことは難しい状況である。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	■ 継続   □ 拡大   □ 改善   □ 代替   □ 統合   □ 縮小   □ 休止   □ 廃止 (□ 一部廃止)					
	高齢者の増加に伴い、申請・調査者数は増加している。主治医意見書や認定調査等の認定業務は、業務の効率化を行いながら継続して行っていく必要がある。					
令和5年度事業計画	要介護認定調査……申請者の状況を確認するため、認定調査を実施。 要介護認定事務……申請者の状況(訪問調査結果・主治医意見書)をもとに認定審査会において審査判定を行い、要介護認定を実施。					
予算規模見込み	■ 同規模	□ 拡大	□ 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	86	重要事業	総合戦略	担当部署	こども福祉課 子育て支援係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・2・4	母子・寡婦家庭及び父子家庭福祉事業			7,991 千円	10,929 千円	8,971 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶5_ひとり親家庭などへの支援の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ひとり親家庭への相談体制を充実し、生活の安定・経済支援・就労支援等を行う。
----------------	---------------------------------------

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・ひとり親家庭への経済的支援  
義務教育の入学時と卒業時の祝金事業（館林市金券1万円）
- ・ひとり親家庭の親の就業に有効な能力の向上や資格の取得を支援・就業情報の提供  
高等職業訓練促進給付金、母子家庭等自立支援教育訓練給付金  
年2回開催の就業相談会（8月と12月）
- ・ひとり親家庭の自立支援のために必要な相談  
母子父子自立支援員の設置  
ひとり親家庭高卒認定試験合格支援補助事業

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業	
	事業費	8,971	8,971	8,971	
	財源	国庫	5,174	5,174	5,174
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	3,797	3,797	3,797	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	児童扶養手当受給者のうち自立支援のための能力開発及び資格取得のための各種支援事業を活用している人の人数	目標値	11	11	11	12	12
		実績値	5				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	8,971 千円	令和3年度決算額	13,210 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業（令和3年度 0人） 令和元年度 4人 令和2年度 3人 令和3年度 0人 ②母子家庭等自立支援高等職業訓練促進費事業（令和3年度 5人） 令和元年度 6人 令和2年度 4人 令和3年度 5人 ③ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業（令和3年度 0人）※令和3年度までの累計実績は1件 令和元年度 0人 令和2年度 0人 令和3年度 0人		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	自立支援高等職業訓練促進費事業については、5名の活用があった。（助産師・准看護師・美容師・社会福祉士・柔道整復師） 子どもの年齢や健康状態等、家庭環境により自立の尺度は異なるため、就業の有無だけで単純に自立の評価は難しい。 本事業は国庫補助事業であり、かつ、利用者は、経済面安定のために取得した国家資格を活かした就職をしていることから、ひとり親家庭の経済的自立のため有効な事業と考える。
課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、自立支援教育訓練給付金の利用実績がなかった。 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の利用実績が少ない。 この2事業の利用にあたっては、仕事・子育て・勉強の3つを両立させる必要があることから利用ハードルが高く、利用促進支援のための対策が必要である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） 資格を取得することで、就業による自立につながることから今後も継続とする。 ひとり親家庭においては、十分な準備もなく就業を開始することによりダブルワークやワーキングプアに陥りやすい状況にある。 本事業は、資格取得をするため養成機関で修学する場合、その生活費を一定保証するものであり、卒業後は資格を活かして就職をすることにより生活の安定が図れる。よって、市民ニーズは高い状態で横ばいであり、ひとり親家庭の経済面の安定のために欠かせない事業であると考えられるため、引き続き、母子父子自立のための相談及び周知に努める。
令和5年度事業計画	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	87	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課給付年金係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)
3・1・4	福祉医療費助成事業			561,150千円	443,500千円
				当初予算額 (R3)	524,705千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶2_医療費助成

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子ども、重度心身障がい者並びに母子家庭及び父子家庭の親と子に対し、保険診療の自己負担分を助成することで健康管理と福祉の増進を図ることを目的にしている。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 福祉医療費助成事業
  - ・県内医療機関受診分の現物給付
  - ・県外医療機関受診分の償還払い
  - ・療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給
  - ・高校生世代の入院医療費助成
  - ・高額療養費の精算事務（国保、後期高齢者医療）
  - ・スポーツ振興センター災害給付金との調整事務
  - ・福祉医療費助成対象者の資格認定及び更新勧奨
  - ・受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、重度心身障がい者）
  - ・福祉医療費補助金事務

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		○福祉医療費助成事業 ・県内医療機関受診分の現物給付 ・県外医療機関受診分の償還払い ・療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・高校生世代の入院医療費助成 ・福祉医療費補助金事務 ・受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、重度心身障がい者）ほか	○福祉医療費助成事業 ・県内医療機関受診分の現物給付 ・県外医療機関受診分の償還払い ・療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・高校生世代の入院医療費助成 ・福祉医療費補助金事務 ・受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、高齢重度障がい者） ・システム改修ほか	○福祉医療費助成事業 ・県内医療機関受診分の現物給付 ・県外医療機関受診分の償還払い ・療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・高校生世代の入院医療費助成 ・福祉医療費補助金事務 ・受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、(高齢)重度心身障がい者）ほか	
	事業費	524,705	524,705	524,705	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	238,985	238,985	238,985
		市債	0	0	0
その他		9,600	9,600	9,600	
	一般財源	276,120	276,120	276,120	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	福祉医療費給付件数	目標値	179,468	176,374	173,280	170,186	167,091
		実績値	158,211				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	524,705千円	令和3年度決算額	470,302千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<b>【福祉医療費助成状況(扶助費支出額)】</b>			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	子ども	218,577,838円	171,927,908円	187,347,538円
	重度心身障がい	134,505,719円	132,474,012円	137,124,367円
	高齢重度障がい	73,872,277円	70,583,926円	74,381,679円
	母子家庭等	55,283,625円	49,262,159円	51,923,812円
	父子家庭	4,284,211円	3,584,318円	4,888,604円
	小児慢性特定疾患	219,640円	264,210円	248,400円
計	486,743,310円	428,096,533円	455,914,400円	

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	-
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	R2はコロナ禍で受診を控えたためか、R3は福祉医療費が増加した。 助成事業を行うことで、受給者の経済的負担を軽減し、安心して必要な医療を受けることができる。
課題	少子化による受給者の減少と、平成31年4月から重度心身障がい者の入院時食事療養費の見直しにより助成額が減額となった。 また、令和5年8月には公平性の確保や制度の持続可能性を踏まえ、重度心身障がい者について所得制限が導入される。 真に医療費助成を必要としている人・世帯への必要な支援が行き届く制度として福祉の向上に貢献する制度であるが、医療費の過大により見直しが行われるようになった。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	中学生までを対象とした福祉医療について、令和3年4月から高校生世代の入院費用を対象拡大した。 高校生世代の入院・通院費をともに助成する地域が県内に出てきたため、本市の高校生世代までが安心して医療を受けられる制度の拡大が懸案事項である。
令和5年度事業計画	引き続き助成事業を行う。 なお、重度心身障がい者については令和5年8月に所得制限の導入が実施される。
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	88	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課給付年金係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・1・5	国民年金事業		8,925 千円	7,879千円	9,109 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶3_適用.給付.相談体制の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	法定受託事務（資格届出書等の受理・裁定請求書の受理・保険料免除申請の受理及び付加保険料の納付脱退申出の受理等）及び協力・連携事務（保険料納付勧奨及び制度周知等の広報紙掲載及び年金に関する来訪・電話相談等）の実施。
----------------	--

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○国民年金事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法定受託事務（年金の資格異動や免除申請書等に関する届出の受理） <ul style="list-style-type: none"> <li>資格異動に関する届出の受理</li> <li>学生納付特例、免除、納付猶予申請の受理</li> <li>裁定請求申請（障害年金受給申請を含む）の受理</li> <li>死亡に伴う未支給年金等の請求申請の受理</li> <li>受理した書類を日本年金機構に送付する</li> </ul> </li> <li>年金生活者支援給付金の支給に係る法定受託事務</li> </ul>
・ 協力・連携事務（制度周知に関する広報や窓口・電話相談）	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金制度や手続きについて広報やホームページに掲載する</li> <li>年金制度に関する窓口・電話相談</li> <li>年金生活者支援給付金の支給に係る協力・連携事務</li> </ul>
・ 国民年金事務費交付金事務	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○国民年金事業 ・ 法定受託事務 ・ 協力・連携事務 ・ 国民年金事務費交付金事務	○国民年金事業 ・ 法定受託事務 ・ 協力・連携事務 ・ 国民年金事務費交付金事務	○国民年金事業 ・ 法定受託事務 ・ 協力・連携事務 ・ 国民年金事務費交付金事務
事業費		9,109	9,109	9,109
財源	国庫	9,109	9,109	9,109
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	日本年金機構への関係書類進達件数	4,678	目標値	4,600	4,561	4,522	4,483	4,444
		単位：件	実績値	3,194				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	9,109千円	令和3年度決算額	7,981千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・被保険者の状況 平成30年度 13,688人 令和元年度 13,251人 令和2年度 13,235人		・受給状況 受給者数      総支給額 平成30年度 21,114人      13,953,419千円 令和元年度 21,341人      14,193,781千円 令和2年度 21,454人      14,360,321千円	
	・年金機構への関係書類進達状況 平成30年度 2,986件 令和元年度 3,023件 令和2年度 3,233件			
	* R3受給状況はR4.7月に連絡がくるためR2が最新に			
	(空欄)			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民年金事業法定受託事務として実施
課題	年金相談の内容が多岐にわたり、特に障害年金の相談はケースにより異なるため、年金事務所に確認しながらでないとするめられない。 障害年金1件当たりの相談時間は時間がかかり対応に1時間かかることが日常的で、職員の負担が非常に大きい。 市で、国民年金事務を法定受託事務として担当職員の人件費も歳入としてあるものの、日本年金機構での一元化が望まれる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	引き続き法定受託事務の実施
令和5年度事業計画	引き続き法定受託事務の実施
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                      ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	89	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課給付年金係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
3・4・1	後期高齢者医療		643,803 千円	643,249千円	666,354 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生活習慣病等の早期発見による重症化予防と後期高齢者の健康保持・増進、医療費の適正化につなげることを目的に健康診査及び人間ドック健診費用の助成を実施。また、本市の被保険者に係る療養給付費の12分の1を負担金として群馬県後期高齢者医療広域連合に納付する。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○後期高齢者医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者の健康保持と生活習慣病等の早期発見のため、健康診査などの保健事業を行う</li> <li style="padding-left: 20px;">健康診査の無料実施</li> <li style="padding-left: 20px;">人間ドック健診費用の助成</li> <li>・被保険者の療養給付費（医療費）の12分の1を負担金として群馬県後期高齢者医療広域連合に納付する</li> </ul>
----------	---

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○後期高齢者医療 ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付	○後期高齢者医療 ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付	○後期高齢者医療 ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付
事業費		666,354	666,354	666,354
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	43,300	43,300	43,300
	一般財源	623,054	623,054	623,054

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	健診と人間ドックの受診率	目標値	37.1	38.0	38.8	39.7	40.6
		実績値	27.34				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	666,354千円	令和3年度決算額	652,196千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・健康診査の実施 令和元年度 3,393人 (健診対象者10,343人) 令和2年度 3,176人 (健診対象者10,696人) 令和3年度 2,625人 (健診対象者10,707人)	・人間ドック健診費用助成 令和元年度 264人 令和2年度 190人 令和3年度 302人	
	・療養給付費負担金 (実績) 令和元年度 590,691,640円 令和2年度 606,775,347円 令和3年度 617,243,719円		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	生活習慣病の早期発見による重症化予防の観点から、令和2年度より健康診査の質問票の内容が改訂し、高齢者の特性を踏まえた健康状態を総合的に判断する。
課題	被保険者の増加に伴い、療養給付費負担金が年々増加しているため、後期高齢者の健康増進として保健事業を行って、医療費の適正化につなげる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	R3健康診査診率が県平均は36.24%のところ本市受診率は27.34%で、35市町村中28位である (最高：大泉町53.85%、最低：渋川市19.70%)。被保険者の健康保持と生活習慣病等の早期発見のため、受診するよう周知していく。
令和5年度事業計画	後期高齢者の健康の保持増進と医療費の適正化につなげるため事業を引き続き実施
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	90	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係	
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
国民健康保険 特別会計	一般経費		42,746 千円	33,703千円	37,892 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険の被保険者の資格の適用を適正に行い、国民健康保険事業の健全な運営を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険の被保険者の資格の取得、喪失の管理</li> <li>・被保険者証、限度額認定証等の交付</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保資格取得の受付・確認</li> <li>・国保資格喪失の受付・確認</li> <li>・健康保険の二重加入調査</li> <li>・被保険者証の交付・更新</li> <li>・短期被保険者証の交付</li> <li>・資格証明書の交付</li> <li>・限度額認定証の交付</li> <li>・高齢受給者証の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保資格取得の受付・確認</li> <li>・国保資格喪失の受付・確認</li> <li>・健康保険の二重加入調査</li> <li>・被保険者証の交付・更新</li> <li>・短期被保険者証の交付</li> <li>・資格証明書の交付</li> <li>・限度額認定証の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保資格取得の受付・確認</li> <li>・国保資格喪失の受付・確認</li> <li>・健康保険の二重加入調査</li> <li>・被保険者証の交付・更新</li> <li>・短期被保険者証の交付</li> <li>・資格証明書の交付</li> <li>・限度額認定証の交付</li> </ul>
	事業費	37,892	37,892	37,892
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	37,892	37,892	37,892

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	37,892 千円	令和3年度決算額	31,780 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 ・国保資格取得の受付・確認 付・確認 ・国保資格喪失の受付・確認 付・確認 ・健康保険の二重加入調査 調査 ・被保険者証の交付・更新 更新 ・短期被保険者証の交付 付 ・資格証明書の交付 ・限度額認定証の交付 ・高齢受給者証の交付	令和2年度 ・国保資格取得の受付・確認 ・国保資格喪失の受付・確認 ・健康保険の二重加入調査 ・被保険者証の交付・更新 ・短期被保険者証の交付 ・限度額認定証の交付 ・高齢受給者証の交付	令和3年度 ・国保資格取得の受 ・国保資格喪失の受 ・健康保険の二重加入 ・被保険者証の交付・ ・短期被保険者証の交 ・限度額認定証の交付 ・高齢受給者証の交付	

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民健康保険制度では、被保険者の資格の適用を適正に行うことは、国民健康保険事業の健全な運営に必要である。適正な資格管理、被保険者証等の交付を行うことができた。
課題	国民健康保険の資格については、届出を行わない方が多いので、加入勧奨や喪失手続の勧奨を継続して行うことで、資格管理と被保険者証等の交付に繋げる。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	国民健康保険事業の健全な運営のため、被保険者の資格の適用の適正化に努める。
令和5年度事業計画	・国民健康保険の被保険者の資格の取得、喪失の管理 ・被保険者証、限度額認定証等の交付
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	91	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
国民健康保険特別会計	国民健康保険税賦課		11,083 千円	6,397千円	9,215 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険の被保険者に対し適正に賦課し、安定した国民健康保険運営を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送する。</li> <li>・軽減対象世帯を的確に把握し、賦課する。</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時</li> </ul>
	事業費	9,215	9,215	9,215
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,215	9,215	9,215

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	9,215 千円	令和3年度決算額	6,388 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度 ■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	令和2年度 ■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	令和3年度 ■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送した。また、軽減対象世帯の把握に努め、適正に減額した。
課題	国民健康保険は、取得又は喪失などによる被保険者の異動が多く月割課税のため、税額更正による変更通知を随時発送しなくてはならず、確認作業等に多くの時間を要する。
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )
	引き続き、国民健康保険税の適正賦課に努める。
令和5年度事業計画	・国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送する。 ・軽減対象世帯を的確に把握し、賦課する。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	92	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
国民健康保険特別会計	国民健康保険運営協議会		757 千円	159千円	757 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市町村が行う保険給付や保険税率の決定等、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議するため、国民健康保険事業の運営に関する協議会（館林市国民健康保険運営協議会）を設置し、開催する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見交換や市長の諮問等に応じて審議する。 委員構成は、被保険者の代表4名、保険医又は保険薬剤の代表4名、公益代表4名、被用者保険等保険者の代表2名の計14名。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険運営協議会の開催</li> <li>・国民健康保険税率の改正について市長の諮問に対する答申</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	国民健康保険運営協議会の開催			
	第1回 国民健康保険特別会計決算（案）について		国民健康保険運営協議会の開催 第1回 国民健康保険特別会計決算（案）について	国民健康保険運営協議会の開催 第1回 国民健康保険特別会計決算（案）について
	第2回 ・国保事業納付金の仮算定結果について ・国民健康保険税率の改正について		第2回 ・国保事業納付金の仮算定結果について ・国民健康保険税率の改正について	第2回 ・国保事業納付金の仮算定結果について ・国民健康保険税率の改正について
	第3回 国保事業納付金の本算定結果について		第3回 国保事業納付金の本算定結果について	第3回 国保事業納付金の本算定結果について
	第4回 ・国民健康保険税率の改正の答申について ・国民健康保険特別会計予算（案）について		第4回 ・国民健康保険税率の改正の答申について ・国民健康保険特別会計予算（案）について	第4回 ・国民健康保険税率の改正の答申について ・国民健康保険特別会計予算（案）について
事業費	757	757	757	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	757	757	757

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	国民健康保険運営協議会開催回数	3	目標値	3	3	4	4	4
		単位：回	実績値	4				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	757千円	令和3年度決算額	83千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険運営協議会の開催                      令和元年度：年3回開催                      令和2年度：年3回開催                      令和3年度：年4回開催</li> <li>・ 市長への答申                      令和元年度：国民健康保険税の税率改正について                      令和2年度：国民健康保険税の税率改正について                      令和3年度：国民健康保険税の税率改正について</li> </ul>			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	運営協議会は、国民健康保険法により、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議していただくため、都道府県や市町村に設置することになっている。本市でも法に基づき館林市国民健康保険条例で規定し、館林市国民健康保険運営協議会を設置している。国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見交換や諮問に対する審議を行っている。					
課題	群馬県から、国民健康保険事業費納付金の納付に必要となる国民健康保険税額が毎年度示されるようになった。示された国民健康保険税額を収納できるような保険税率の設定が必要で、平成30年度以降の保険税率について、改正が必要か運営協議会に諮問している。群馬県では、県内の保険税率を統一することで協議が進められているが、統一される年度は示されていない。当分の間、保険税率の改正について運営協議会への諮問が必要と考えられる。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	国民健康保険事業の運営に関する事項を審議していただくため、国民健康保険運営協議会を開催する。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険運営協議会の開催</li> <li>・ 保険税率の改正について市長の諮問に対する答申</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	93	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
国民健康保険特別会計	趣旨普及事業			594 千円	322千円	594 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	被保険者に対し、国民健康保険制度の理解を深めることを推進するとともに、趣旨の普及並びに啓発を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
国民健康保険の趣旨や制度の理解を深めてもらうため、納税通知書の発送時や保険証の交付時等に、内容をわかりやすく作成した国民健康保険制度等のパンフレットやリーフレットを配布し、効果的に啓発を行う。また、ジェネリック医薬品普及啓発シールを配布し、医療費適正化の必要性を広く周知する。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者用パンフレット「お元気ですか 国民健康保険です」</li> <li>・第三者行為周知リーフレット</li> <li>・ジェネリック医薬品普及啓発シール</li> <li>・柔道整復施術療養費の適正受診啓発用パンフレット 等</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者用パンフレット 11,600部</li> <li>・第三者行為周知リーフレット 800部</li> <li>・ジェネリック医薬品普及啓発シール 12,000枚</li> <li>・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,100部</li> <li>・「被保険者証と高齢受給者証の一体化」チラシ 12,000部</li> <li>・高齢受給者証パンフレット 6,000部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者用パンフレット 11,600部</li> <li>・第三者行為周知リーフレット800部</li> <li>・ジェネリック医薬品普及啓発シール 12,000枚</li> <li>・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,100部</li> <li>・「被保険者証と高齢受給者証の一体化」チラシ 12,000部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者用パンフレット 11,600部</li> <li>・第三者行為周知リーフレット 800部</li> <li>・ジェネリック医薬品普及啓発シール 12,000枚</li> <li>・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,100部</li> <li>・「被保険者証と高齢受給者証の一体化」チラシ 12,000部</li> </ul>
	事業費	594	594	594
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	594	594	594

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	594千円	令和3年度決算額	233千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔道整復施術療養費の適正受診啓発</li> <li>・ジュネリック普及啓発</li> <li>・高齢受給者証用お知らせ</li> <li>・第三者行為周知</li> <li>・マイナンバーカード取得促進用リーフレット</li> <li>・被保険者証と高齢受給者証の一体化チラシ</li> <li>・被保険者証用パンフレット</li> </ul>	令和元年度 4,000部 12,000部 5,500部 12,000部	令和2年度 5,000部 14,500部 5,800部 700部 12,000部	令和3年度 5,100部 12,000部 6,000部 800部 12,000部 450部

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市の広報紙及びホームページにおいて、国民健康保険の事業について周知を図っている。加えて、毎日の暮らしに直結する国民健康保険制度を、被保険者の方に普及啓発することが求められる。内容が分かりやすく作成されたパンフレットを活用し、効果的に啓発を行っている。					
課題	国民健康保険制度では、各種届出や申請を自ら行わなければならない。また、制度の内容も毎年度のように改正が行われている。国民皆保険制度を支える国民健康保険は、他の医療保険との加入と脱退も頻繁に行われることから、国民健康保険制度を理解していただくとともに、趣旨の普及や啓発のため、効果的なものとなるパンフレットの選択や送付時期を考えて、被保険者に情報を提供する必要がある。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	国民健康保険制度を周知するため、趣旨の普及並びに啓発を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者証等の送付時にパンフレットを同封</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	94	重要事業	○	総合戦略		担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
国民健康保険 特別会計	特定健康診査等事業費				60,852 千円	47,532千円	62,156 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶3_適用.給付.相談体制の充実
	▶1_疾病予防.特定健康診査などの保健事業の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	特定健康診査及び特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目したもので、実施することが医療保険者に義務付けられている。国民健康保険の被保険者の生活習慣病の発生及び重症化を未然に予防し、生活習慣の改善を図っていく。 特定健康診査、特定保健指導を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
40歳から74歳の被保険者に、特定健康診査の受診券を送付する。被保険者は、集団健診か個別健診のどちらかを選択して受診することができ、特定健康診査受診後の結果により、対象者を選定し、生活習慣病予防のための特定保健指導を健康推進課と連携して実施する。	
<b>■特定健康診査</b> ・場所 集団健診は、公益法人群馬県健康づくり財団に委託して、保健センター及び各公民館で実施する。 個別健診は、館林市邑楽郡医師会に委託して、各医療機関に個別に受診する。 ・期間 集団健診は、7月～12月 個別健診は、6月～10月 <b>■特定保健指導</b> ・集団健診受診者に対しては、公益法人群馬県健康づくり財団に委託し、個別健診受診者に対しては、保険年金課、または健康推進課で事業を実施する。 ・指導効果を高めるため、対象者の優先順位を設けて、指導を実施する。 ・未実施者に関しては、専門職による勧奨を実施する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	■特定健康診査 受診券発送	5月	5月	5月
	集団健診	7月～12月	7月～12月	7月～12月
	個別健診	6月～10月	6月～10月	6月～10月
	■特定保健指導	10月～	10月～	10月～
事業費		62,156	62,156	62,156
財源	国庫	17,439	17,439	17,439
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	44,717	44,717	44,717

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	特定健診の受診率	37.8	目標値	45.2	48.9	52.6	56.3	60
		単位：%	実績値	36.6				
活動指標	特定保健指導実施率	21.4	目標値	30.6	35.2	39.8	44.4	49
		単位：%	実績値	17.9				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	62,156 千円	令和3年度決算額	51,782 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：5,299人 36.7%</li> <li>令和2年度：4,651人 36.0%</li> <li>令和3年度：4,547人 36.6%</li> </ul> </li> <li>・ 特定保健指導の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：142人 22.5%</li> <li>令和2年度：167人 26.6%</li> <li>令和3年度：112人 17.9%</li> </ul> </li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	生活習慣病の予防及び早期発見を目的とする特定健康診査や、生活習慣病のリスクが高い被保険者に対し生活習慣の改善に向けたサポートをする特定保健指導を実施していく。生活習慣病の重症化や医療費の増加を防ぐための手段として、特定健康診査や特定保健指導は、欠かすことができない。					
課題	特定健康診査の受診率は40%に届いていない。県平均及び全国平均と比べても、低い受診率になっている。実施率向上のための取組や継続して実施する必要がある。また、受診結果をもとに、糖尿病性腎臓病の発症や重症化を予防するための取組を実施していかなければならない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	生活習慣病予防のための特定健康診査や生活習慣の改善を目的とした特定保健指導を引き続き実施していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査を実施 (集団健診及び個別健診)</li> <li>・ 特定保健指導を実施</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	95	重要事業	○	総合戦略		担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
国民健康保険特別会計	保健衛生普及費			24,477 千円	13,458千円	24,167 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険に加入する被保険者の健康維持及び疾病の早期発見を図る。また、医療機関を受診してかかった医療費や、ジェネリック医薬品に切り替えたときの差額を通知することにより、被保険者の健康や医療費に対する意識を高めるとともに、本市の国民健康保険の健全な運営を図ることを目的とする。 短期人間ドック健診費用を助成する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>■短期人間ドック健診費用の助成 短期人間ドックの健診費用を助成することで、病気の発生を未然に防ぐことや病気の早期発見に有効な人間ドックの受診を促進する。 1泊2日コース 助成額 40,000円/人 日帰りコース 助成額 20,000円/人</p> <p>■医療費通知及びジェネリック医薬品差額通知の送付 医療費通知は、健康に対する意識を高めるとともに、確定申告の医療費控除で使用できるものとなっている。また、ジェネリック医薬品差額通知は、被保険者の医療費負担の抑制にもつながり、有益な市民サービスを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費通知 年3回</li> <li>・ジェネリック医薬品差額通知 年2回</li> </ul>	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<p>■短期人間ドック 申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知 ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月</p>	<p>■短期人間ドック 申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知 ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月</p>	<p>■短期人間ドック 申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知 ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月</p>
	事業費	24,167	24,167	24,167
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	24,167	24,167	24,167

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	短期人間ドック健診費助成件数	目標値	895	922	948	974	1000
		単位：件 実績値	864				
活動指標	ジェネリック医薬品使用割合	目標値	75.1	76.4	77.6	78.8	80.0
		単位：％ 実績値	-				
		目標値					
		単位： 実績値					
		目標値					
		単位： 実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	24,167 千円	令和3年度決算額	20,266 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期人間ドック健診費用の助成                      令和元年度：843人                      令和2年度：527人                      令和3年度：864人</li> <li>・ 受診医療費の通知                      令和元年度：3回                      令和2年度：3回                      令和3年度：3回</li> <li>・ ジェネリック医薬品差額の通知                      令和元年度：2回                      令和2年度：2回                      令和3年度：2回</li> </ul>		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	D		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	短期人間ドックの健診費用を助成することで、病気の発生を未然に防ぐことや病気の早期発見に有効な人間ドックの受診を促進している。 受診医療費の通知は、健康に対する意識を高めるとともに、確定申告の医療費控除で使用できるものとなっている。また、ジェネリック医薬品差額の通知は、被保険者の医療費負担の抑制にもつながり、ともに有益な市民サービスとなっている。		
課題	各医療機関で人間ドックの受診者を受け入れられる人数の上限があり、希望する医療機関で人間ドックを受けることができない被保険者もいる。 本市におけるジェネリック医薬品の使用割合は、国が定める使用割合の目標値80%に達していない状況にある。		
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )		
	短期人間ドック健診費用の助成や医療費通知、ジェネリック医薬品差額の通知を発送することで、被保険者の健康維持を図る。		
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期人間ドック健診費用を助成</li> <li>・ 受診医療費を通知 (3回)</li> <li>・ ジェネリック医薬品差額を通知 (2回)</li> </ul>		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小
備考	※前年度比較		

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	96	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 給付年金係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療保険料徴収		4,637 千円	3,705千円	4,855 千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	後期高齢者医療保険料収納事務として、保険料額決定（変更）通知書の発送、徴収、還付・充当及び滞納処分等事務。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 後期高齢者医療保険料徴収
- ・後期高齢者医療保険料額決定（変更）通知書発送
  - ・後期高齢者医療保険料の徴収（口座振替、督促、滞納処分等）
  - ・後期高齢者医療保険料の還付、充当
  - ・後期高齢者医療保険料徴収に対し必要な調査など

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	4,855	4,855	4,855	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	4,855	4,855	4,855	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	後期高齢者医療保険料収納率	目標値	99.12	99.16	99.18	99.2	99.22	99.24
		実績値	99.04					
	単位：%	目標値						
		実績値						
	単位：	目標値						
		実績値						
	単位：	目標値						
		実績値						

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	4,855 千円	令和3年度決算額	2,967 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・被保険者数（年度末） 令和元年度 10,808人 令和2年度 10,830人 令和3年度 11,251人		・口座振替件数 令和元年度 9,192件 令和2年度 9,150件 令和3年度 9,506件	
	・保険料収納率 令和元年度 現年度分99.44% 滞納繰越分54.53% 全体99.12% 令和2年度 現年度分99.36% 滞納繰越分42.43% 全体98.91% 令和3年度 現年度分99.51% 滞納繰越分51.61% 全体99.04%			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき事業を実施している。
課題	令和3年度の保険料収納率は99.04%で、県全体の99.29%より下回った結果となった。高齢化で被保険者の増加が見込まれるため、口座振替の推奨など収納率向上のための対策が課題である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	現状、普通徴収の納付方法は金融機関のみ。 収納率向上のためコンビニ収納など納付機会を増やし、納付者の利便性を図る。
令和5年度事業計画	収納率を高めるため、特に滞納繰越分の徴収に力を入れる。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	97	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課 地域医療係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・1・1	保健衛生事業			602千円	381千円	780千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①熱中症予防啓発 懸垂幕や看板の設置、広報車により、熱中症予防を啓発する。広報車での啓発について、平成30年度から健康推進課単独で行っている。 ②骨髄移植ドナー支援事業 骨髄・末梢血管細胞の提供を行った者に対し補助金を交付し、骨髄提供者の増進を図り、骨髄等移植を推進する。
----------------	---

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①熱中症予防啓発	テレビなどで熱中症についてのニュースなどが多く取り上げられるようになり、認識もされてきたことから、今年度から熱中症アラートが発令された場合に広報車での啓発を行う。 熱中症啓発のマグネットシートを市公用車に貼付しアナウンスを行いながら市内を巡回する。また、行政区にマグネットシートを配布し、人が集まる場所や車に貼付していただき啓発を行ってもらう。
②骨髄移植ドナー支援事業	コロナ禍で医療機関の受診やこういった健康診断についても控えていると思われるが、ポスター掲示やちらしの設置を行い事業周知を図る。

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	保健衛生事業	保健衛生事業	保健衛生事業	保健衛生事業
	①熱中症予防啓発 ・広報車での啓発 ・マグネットシートの公用車への貼付 ・行政区へのマグネットシート貼付依頼	①熱中症予防啓発 ・広報車での啓発 ・マグネットシートの公用車への貼付 ・行政区へのマグネットシート貼付依頼	①熱中症予防啓発 ・広報車での啓発 ・マグネットシートの公用車への貼付 ・行政区へのマグネットシート貼付依頼	①熱中症予防啓発 ・広報車での啓発 ・マグネットシートの公用車への貼付 ・行政区へのマグネットシート貼付依頼
事業費		780	566	780
財源	国庫	0	0	0
	県費	70	70	70
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	710	496	710

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	780千円	令和3年度決算額	513千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 広報車による熱中症予防啓発 R元年度 19日間 R2年度 24日間 R3年度 6日間 令和3年度は群馬県に「熱中症警戒アラート」が発令された日に実施  ・ 骨髄移植ドナー支援事業 (H30年度から開始) R元年度 実績なし R2年度 実績なし R3年度 実績なし			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	①熱中症予防啓発 広報車での啓発では、農作業や工事を行っているかたが振り返っている様子がみられ、啓発活動として有効であると思われる。 ②骨髄移植ドナー支援事業 現在まで本市では実績がないが、県内では毎年、助成制度の利用者がいる。また、骨髄移植の増進を図る上では重要な事業である。					
課題	①熱中症予防啓発 熱中症については、新聞やテレビでも取り上げられており、ある程度の認識はあると思われるが、暑さが慣れていない時期の熱中症発生が多い。 ②骨髄移植ドナー支援事業 事業を知っていただくため周知が必要。また、骨髄移植ドナー支援事業について、骨髄等の提供者になると検査などで仕事を休まなければならない、収入減になるため提供をやめてしまう人もあり、提供者の増加が難しい。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	①熱中症予防啓発 懸垂幕や看板の設置、広報車の巡回により熱中症予防を啓発する。また、コロナ禍でのマスク着用については、感染状況等によって考え方が変化するため、情報収集に努め適切な対応をしていきたい。 ②骨髄移植ドナー支援事業 骨髄・末梢血幹細胞の提供を行った者に対し補助金を交付する。また、事業の周知を行いながら骨髄等提供者の増進を図り、骨髄等移植を推進する。					
令和5年度事業計画	継続実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	98	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・1・3	保健活動推進事業			677千円	3,544千円	675千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_心の健康づくりの促進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	自殺対策基本法の改正により、生きることの包括的な支援を行うため、本市では、平成31年3月に策定した「館林市自殺対策計画」に基づき、地域レベルの実践的な取組を推進していく。 自殺予防啓発活動（パンフレット・啓発物品の配布・講演会等の開催等）
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
自殺対策に関する事業の実施	
①人材育成事業	
・ゲートキーパーの養成：自殺対策の人材育成として、ゲートキーパー養成講座実施	
②普及啓発事業	
・こころの健康づくり講演会：コロナ下でのストレスの原因及び対処法について、講演会を実施	
・自殺対策月間イベント：県自殺予防月間（9月）、自殺対策強化月間（3月）中に広く市民に心の健康に関する情報を発信	
9月：保健センター内に「いのち」に関する図書コーナーの設置（図書館協力）	
3月：健康展（市民ホール）での自殺関連パネルの展示、公用車に自殺予防マグネットシート貼付	
・産後うつ対策：保健師、看護師の妊婦訪問時に産後うつに関するリーフレット配布	
③若年層への対策事業	
・成人式参加者への自殺予防啓発用品、リーフレットの配付：心の健康に関する知識の普及と相談先（電話相談・SNS相談）の紹介	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①人材育成事業 ・ゲートキーパー養成研修 （対象：母子保健推進員）		①人材育成事業 ・ゲートキーパー養成研修	①人材育成事業
	②普及啓発事業 ・こころの健康づくり講演会 ・9月、3月の自殺対策月間イベント ・妊婦訪問時の産後うつ対策		②普及啓発事業 ・こころの健康づくり講演会 ・9月、3月の自殺対策月間イベント ・妊婦訪問時の産後うつ対策	②普及啓発事業 ・こころの健康づくり講演会 ・9月、3月の自殺対策月間イベント ・妊婦訪問時の産後うつ対策
	③若年層対策事業 ・新成人への普及啓発		③若年層対策事業 ・新成人への普及啓発	③若年層対策事業 ・新成人への普及啓発
事業費		675	667	850
財源	国庫	0	0	0
	県費	81	89	90
	市債	0	0	0
	その他	105	34	35
	一般財源	489	544	725

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ゲートキーパー養成者数 自殺対策計画目標値 (R元年度~5年度)	目標値	107	142	178	214	250
		実績値	96				
活動指標	自殺者の減少 (人口10万人あたり)	目標値	-	-	13.9	-	13.9
		実績値	-				
活動指標	自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)の周知度 (聞いたことのある者の率)	目標値	-	-	66.7	-	66.7
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	675 千円	令和3年度決算額	554 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	自殺予防対策事業の実施 ①人材育成事業 ・ゲートキーパー養成研修受講者数 R元年度：35人 R2年度：未実施 R3年度：61人 ②普及啓発事業 ・こころの健康づくり講演会参加者数 R元年度：未実施 R2年度：未実施 R3年度：29人 ・3月の自殺対策月間イベント（健康展参加者数）R元年度：未実施 R2年度：パネル展示のみ R3年度：138人 ・妊婦訪問時の産後うつ対策（訪問人数）R元年度：362人 R2年度：349人 R3年度：409人 ③若年層対策事業 ・成人式参加者への啓発用品を配布 R元年度：700人 R2年度：680人 R3年度：650人			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた人材育成（ゲートキーパー養成）を再開した。また、年2回の自殺対策予防月間中に、広く市民に自殺の現状や予防についての知識の普及に向けた事業を展開した。自殺予防の成果については、R2年の自殺死亡率は全国的に増加し、本市においても人口10万対26.4とR元年の11.8を大きく上回り、対策強化が求められている。					
課題	一般市民への知識の普及は充実してきたが、自殺ハイリスク者への支援に未着手の状態。関係機関等との連携による支援体制の構築が必要。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	自殺予防に関する市民への情報発信の充実に加え、R4年度から、県が進めている自殺未遂者の支援体制整備事業に基づき、関係機関と連携したハイリスク者の支援を行う。					
令和5年度事業計画	自殺予防対策事業の実施 ・人材育成（ゲートキーパー養成研修の実施） ・普及啓発事業（講演会開催、予防月間中のイベント開催、妊娠中からの産後うつ対策） ・若年層対策事業（成人式参加者への情報発信） ・館林市自殺対策計画（第2次）の策定。市民アンケートの実施					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	99	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
4・1・3	健康づくり推進事業			1,871千円	366千円	1,916千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_自主的な健康づくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健康の保持・増進に関する啓発活動や健康づくりを実践する個人、団体等への支援を通じて、「自分の健康は自分で守る」という市民の健康意識の向上及び健康寿命の延伸を図る。 健康づくり計画の推進、健康づくり推進懇話会による健康づくりの推進、地域に根差した健康づくり事業の実施。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

健康づくり推進事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食生活改善推進員活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進員活動支援、資質向上のための研修会開催（リーダー研修会、推進員研修会）</li> <li>・市民を対象とした減塩推進活動</li> <li>・食生活改善推進員の養成（健康大学の開催）</li> </ul> </li> <li>②健康づくり推進懇話会による健康づくり推進</li> <li>③健康まつりの開催</li> <li>④健康づくり計画（健康たてばやし21第3次）による健康づくり推進</li> </ul>
-----------------	---

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		健康づくり推進事業【重】 ①食生活改善推進員活動 研修会開催・減塩推進活動 (健診結果相談会、健康展) 健康大学の開催 ②健康づくり推進懇話会会議開催 ③健康まつり(中止)	健康づくり推進事業 ①食生活改善推進員活動 研修会開催・減塩推進活動 健康大学の開催 ②健康づくり推進懇話会会議開催 ③健康まつり ④健康寿命延伸のための啓発事業 ・野菜摂取推進店登録制度 ・活動量計を利用した運動啓発 ※④は、健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業から移行	健康づくり推進事業【重】 ①食生活改善推進員活動 研修会開催・減塩推進活動 健康大学の開催 ②健康づくり推進懇話会会議開催 ③健康まつり ④健康寿命延伸のための啓発事業 ・野菜摂取推進店登録制度 ・活動量計を利用した運動啓発
事業費		1,916	4,405	4,405
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,916	4,405	4,405

### 【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	食生活改善推進員数	82	目標値	83	84	84	85	85
		単位：人	実績値	64				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	1,916千円	令和3年度決算額	437千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	健康づくり推進事業 ①食生活改善推進員活動 推進員数 R元年度：82人 R2年度：72人 R3年度：64人 活動回数 R元年度：444回 R2年度：103回 R3年度：112回 活動延人数 R元年度：4,412人 R2年度：289人 R3年度：488人 健康大学の実施 R元年度：修了者7人 R2年度：未実施 R3年度：修了者5人  ②健康づくり推進懇話会会議開催 開催回数 R元年度：会議1回 書面会議2回 R2年度：書面会議3回 R3年度：書面会議3回  ③健康まつり R元年度：台風により中止（健康づくり推進大会のみ実施） R2年度：中止 R3年度：中止			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	食生活改善推進員活動 ・食生活改善推進員の会員数は、会員の高齢による退会と新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛でR2年度以降会員数が減少した。加えて、養成講座(健康大学)がR2年度中止となり新規に会員養成ができなかったが、R3年度に再開し、会員増につなげた。 ・長引く感染拡大で調理実習等の教室開催が中止となる中、事業内容を見直し、健診結果相談会でのミニ講話の実施や健康展での減塩推進活動を実施し、コロナ禍に配慮した活動を継続した。					
課題	①食生活改善推進員活動：会活動の継続に向け、新規会員の養成が必要。また、公民館を拠点とした地域活動が再開に向け、公民館をはじめ、関係機関との連携体制の再構築が必要。 ②健康づくり推進懇話会：対面会議が中止が続く、書面会議としていたため委員から直接意見聴取が行えていない。 ③健康まつり：3年間の中止により、イベントを通じ広く市民の健康情報の発信の機会が減少。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	①食生活改善推進員活動 ・地域活動再開に向け、会員の食に関する知識の再習得のための支援を行う。 ・公民館を拠点とした地域活動を再構築するため、地域関係機関との連携構築を図りながら円滑な活動再開につなげる。 ②健康づくり推進懇話会会議開催：年3回の会議開催を再開。健康づくりに関する意見聴取を行い、健康づくり推進に反映する。 ③健康まつり：イベントを通じて、市民に広く健康情報を発信する。					
令和5年度事業計画	①食生活改善推進員活動 研修会開催・減塩推進活動 健康大学の開催 ②健康づくり推進懇話会会議開催 ③健康まつりの開催					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	100	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・3	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業				3,139千円	1,467千円	3,434千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_健康寿命延伸のための取組推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の健康寿命の延伸を目指し、健康寿命延伸プラットフォームの方針である「健康への取り組みを館林市民の文化として根づかせる」ために、市民へ健康情報を発信し、市民の健康意識の向上を図る。
----------------	---

#### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

##### 健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重要事業】

- ①産学官連携プラットフォーム会議における調査研究等による健康情報の発信
- ②市民への野菜摂取の推進：ベジ活応援店登録制度の周知啓発及び市民への野菜摂取推進の周知啓発
- ③活動量計を利用した運動啓発事業の充実

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重】 ①産学官連携プラットフォーム会議における調査研究等による健康情報の発信 ②市民への野菜摂取の推進：ベジ活応援店登録制度の周知啓発及び市民への野菜摂取推進の周知啓発 ③活動量計を利用した運動啓発事業の充実：たてばやし新8020運動	健康づくり推進事業に移行して実施	
事業費		3,434		
財源	国庫	0		
	県費	0		
	市債	0		
	その他	1,925		
	一般財源	1,509	0	0

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	ベジ活応援登録店舗数 (R2年度開始)	-	目標値	10	20	30	40	50
		単位：数	実績値	27				
活動指標	活動量計利用者数 (R2年度開始)	-	目標値	40	80	120	160	200
		単位：人	実績値	66				
			目標値					
			単位：					
			目標値					
			単位：					

## 【令和3年度事業】事業評価調査

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	3,434 千円	令和3年度決算額	1,670 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・R元年度：プラットフォーム会議の開催 2回 専門委員会：食1回、医薬1回、生きがいづくり及び情報発信2回 ウォーキング教室：4/26 [茂林寺沼南岸遊歩道 (23人参加)・11/2城沼周辺 (40人参加)] 健康ウォーキング講演会：10/14 (500人参加) 健康寿命延伸シンポジウム：1/19 (523人参加) 市民意識調査の実施：1,600人 ・R2年度：プラットフォーム会議の開催中止 (3月に年間の事業報告として資料送付) 活動量計を利用した健康づくり事業 (たてばやし新8020運動) の開始 (55人参加) 健康ウォーキング教室：12/9 対象：活動量計利用者 (16人参加) たてばやしベジ活応援店登録制度 (野菜摂取の推進) の開始 (28店舗登録) ・R3年度：プラットフォーム会議の開催中止 活動量計を利用した健康づくり事業 (66人参加) 健康ウォーキング教室：6/29 対象：活動量計利用者 (16人参加) 健康ウォーキング教室：11/17 対象：市民 (13人参加) たてばやしベジ活応援店登録制度 (野菜摂取の推進) の開始 (27店舗登録)		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染拡大の影響でR2年度からプラットフォーム会議及び専門委員会活動の活動が休止状態にあるが、健康寿命延伸に向けた運動、食に関する事業として、「活動量計を利用した健康づくり事業」と「野菜摂取推進店 (たてばやしベジ活応援店) 登録制度」を実施し、運動、食に関する事業を継続した。					
課題	R2年度からのプラットフォーム会議及び専門委員会活動休止により、その間、各団体のメンバーの異動、変更が多く生じ、再開の場合、組織の再構築が難しい状態。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	プラットフォーム会議については、再開が困難なうえ、常に新たなテーマを持って協議を継続する体制には限界がある。現在、市として健康寿命延伸に向けた事業展開は継続実施できていることから、今後は健康づくり推進事業として健康づくり計画「健康たてばやし21 (Ⅲ)」に基づき、市民の健康寿命延伸に向けた活動を展開していく予定。					
令和5年度事業計画	健康づくり推進事業として、「活動量計を利用した健康づくり事業」と「野菜摂取推進店 (たてばやしベジ活応援店) 登録制度」を実施					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	101	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
4・1・3	生活習慣病予防事業			117,645千円	76,165千円	114,103千円		

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_きめ細やかな保健指導の実施
	▶4_疾病の早期発見や早期治療

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健康増進法に基づく健康増進事業を中心に、各種保険事業の実施により、生活習慣病の発症予防や重症化予防のため、市民の健康寿命の延伸を図る。 ①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①健康手帳の交付	各種健康診査・がん検診の受診結果、血圧測定結果等を自ら記録し管理する。
②健康教育	生活習慣病予防および重症化予防のための講演会、健康教室等の実施。 病態別健康教育（高血圧、糖尿病、骨粗しょう症）、一般健康教育（健康展、保健センターだよりの発行、出前講座等）
③健康相談	市民および健診事後指導者へ生活習慣改善に向けた個別相談の実施。 ヘルスアップ相談会、公民館健康相談、健診結果相談会、窓口相談、電話相談等
④健康診査及びがん検診	生活習慣病予防健診・生保特定健診・歯周病検診・骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検診・胃がんリスク検診・がん検診（肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）
⑤訪問指導	検診事後指導者及び療養上の保健指導が必要な者に対し、訪問し保健指導を実施

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤家庭訪問		①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤家庭訪問 ※がん患者医療用ウィッグ等購入費助成【新規】	①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導
	事業費	114,103	112,640	112,640
財源	国庫	1,972	2,188	2,188
	県費	4,171	3,674	3,674
	市債	0	0	0
	その他	5,988	5,718	5,718
	一般財源	101,972	101,060	101,060

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	大腸がん検診受診率	6.9	目標値	18.7	24.1	29.4	34.7	40.0
		単位：%	実績値	6.2				
総合計画 指標	子宮頸がん検診受診率	18.5	目標値	24.3	30.7	37.1	43.6	50.0
		単位：%	実績値	16.7				
総合計画 指標	乳がん検診受診率	20.1	目標値	22.5	29.4	36.3	43.2	50.0
		単位：%	実績値	18.2				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	114,103千円	令和3年度決算額	106,300千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①健康手帳の交付(交付数) R元年度:244人 R2年度:191人 R3年度:277人 ②健康教育(開催回数) R元年度:111回・6,256人 R2年度:18回・350人 R3年度:38回・604人 ③健康相談(開催回数) R元年度:179回・1,003人 R2年度:499回・817人 R3年度:218回・1,331人 ④健康診査及びがん検診(受診率) ・生活習慣病予防健康診査 R元年度:3.2% R2年度:2.1% R3年度:3.3% ・肺がん検診 R元年度:9.3% R2年度:6.1% R3年度:10.7% ・大腸がん検診 R元年度:6.9% R2年度:5.0% R3年度:6.2% ・胃がん検診 R元年度:8.9% R2年度:7.0% R3年度:6.9% ・子宮頸がん検診 R元年度:18.5% R2年度:17.0% R3年度:16.7% ・乳がん検診 R元年度:20.1% R2年度:16.9% R3年度:18.2% ※生活習慣病予防健診以外のがん検診については、国の指針に合わせて算出(健康増進事業報告に準じる) ⑤訪問指導 R元年度:444人 R2年度:171人 R3年度:73人		

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	B
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	がん検診の受診率については、国の指針に基づく対象年齢(大腸がん:40~69歳男女、子宮頸がん:20~69歳女性、乳がん:40~69歳女性)と算出方法で表示。新型コロナウイルス感染拡大の影響でR2年度はすべての検診の受診率が低下し、前年度比約6割の受診となったが、R3年度は感染拡大前の受診率に近い水準に戻すことができた。受診控えによるがんの進行が危惧されたが、R3年度のがん発見者29名の多くは早期がんであり、早期発見、早期治療につなげることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診受診率の算出については、市が実施の検診の受診者数のみから算出しているため、国の目標値には大きく及ばない。情報連携により、職域検診の受診状況等、市民全体の現状を把握する必要がある。</li> <li>・検診で早期がん及び前がん状態を発見するために、初回受診者を増やす必要がある。</li> </ul>
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が受診しやすい検診体制を整え、受診者増につなげる。(R4年度は女性限定の検診日を設定)</li> <li>・未受診者対策として、各がんの好発年齢層や検診対象となる初年度年齢(40歳等)にターゲットを絞り、再勧奨通知を送るほか、ホームページ、広報、出前講座、イベント(健康まつり・健康展)等の機会に広く市民に周知を行う。加えて、R4年度は、包括連携協定を締結している生命保険会社の協力による検診受診勧奨を新たに開始する。</li> </ul>
令和5年度事業計画	①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤家庭訪問(健診事後指導等) ⑥がん患者医療用ウィッグ等購入費助成
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	102	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・4	感染症予防事業			6,144千円	30,683千円	8,245千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	感染症予防法に基づき、結核のまん延防止やその他の感染症の予防に努める。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①感染症予防 ・結核健康診断 （問診・胸部レントゲン撮影・対象40歳以上） ・感染症予防のための薬剤散布 （台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布） ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催、市民への啓発、マスク・消毒液などの備蓄・提供など	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布（随時） ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布（随時） ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布（随時） ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など
	事業費	8,245	5,306	5,306
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,245	5,306	5,306

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 広報紙掲載	9	目標値	7	7	6	5	4
	単位：回	実績値	2				
活動指標 結核健康診断	5,845	目標値	5,897	5,922	5,948	5,974	6,000
	単位：人	実績値	5,121				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	8,245 千円	令和3年度決算額	26,950 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①感染症予防のための薬剤散布 ・令和元年度 台風19号によるマンホールからの汚水噴出のための消毒剤散布 つつじ町・分福町・加法師町の3か所 ②結核健康診断 (問診・胸部レントゲン撮影 対象：40歳以上) ・令和元年度 受診者数5,845人 ・令和2年度 受診者数3,903人 ・令和3年度 受診者数5,121人 ③新型コロナウイルス感染症対策 ・令和元年度 対策会議開催回数 14回 ・令和2年度 対策会議開催回数 23回 ・令和3年度 対策会議開催回数 15回			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	結核健診の受診者は、令和2年度に比べると減少しているが、これは新型コロナウイルス流行の受診控えによるものと思われる。また、新型コロナウイルス感染症対策会議は、庁内における情報共有のため不可欠であり、必要性や有効性が高い。					
課題	令和2年度に新型コロナウイルス流行の影響で受診者が大きく減少したが、令和3年度はコロナ以前の受診者数に近づいている。今後も、効果的な受診勧奨対策が求められている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	受診しやすい健診体制の工夫により、受診者を増やす。また、新型コロナウイルス感染症対策会議の開催も50回を超えており、今後も庁内の情報共有を図れるよう、感染症対策の充実を図る。					
令和5年度事業計画	台風、大雨等により溢水被害が発生した際の薬剤散布 結核健康診断の継続 新型コロナウイルス感染症対策					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	103	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 母子保健係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・5	予防接種事業			212,585千円	226,852千円	216,771千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち ▶III_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策目的	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実
施策の方向	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	予防接種を行い、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を行う。 ①定期予防接種 ②任意予防接種助成
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
[定期予防接種] ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、二種混合、BCG、麻しん風しん、第5期風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌	
[任意予防接種助成] おたふくかぜ、風しん（成人）、高齢者用肺炎球菌、骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①定期予防接種【重】 ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 【新規】 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成		①定期予防接種【重】 ※子宮頸がんワクチン接種再開 ※風しん第5期延長（3年間） ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成	①定期予防接種【重】 ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成
	事業費	216,771	234,769	234,769
財源	国庫	4,481	3,886	3,886
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	212,290	230,883	230,883

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第1期）	目標値	92.8	93.4	93.9	94.5	95.0
		実績値	98.5				
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第2期）	目標値	94.9	94.9	94.9	95.0	95.0
		実績値	97.9				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	216,771 千円	令和3年度決算額	197,535 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 予防接種の接種率（麻しん風しん第1期） 令和元年度：91.7%、令和2年度：103.2%、令和3年度：98.5%  ■ 予防接種の接種率（麻しん風しん第2期） 令和元年度：94.8%、令和2年度：99.3%、令和3年度：97.9%			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については目標値を上回っている。新型コロナウイルス感染症のまん延により、ワクチンで予防できる病気はワクチンで防ごうという意識の高まりと共に、乳幼児健康診査時の勧奨、未接種者への電話確認、保育園、幼稚園、学校へのちらし配布等を積極的に行ったことが目標値を上回ったと考えられる。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期予防接種では、二種混合や日本脳炎第2期の学童の接種率がやや低い。</li> <li>・ 風しん第5期の抗体検査率が全国的に低く令和4年度から3年間延長されるため、今後も勧奨を行う必要がある。</li> <li>・ 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の再開及びキャッチアップ接種、任意接種の助成制度が開始されるため、勧奨及び周知をする必要がある。</li> </ul>					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 麻しん風しん予防接種は、今後も接種率95%を維持する。</li> <li>・ 風しん第5期抗体検査、予防接種については、多様な受診方法を周知し（特定健診や全国の医療機関等）勧奨を図る。</li> <li>・ 令和4年度より子宮頸がん予防接種の積極的勧奨が再開され、また、キャッチアップ接種や任意接種の助成制度も行われるため、対象者への周知を行い接種を推進する必要がある。</li> </ul>					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期予防接種の実施</li> <li>・ 任意予防接種の助成</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	104	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 新型コロナウイルスワクチン接種係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・5	新型コロナウイルスワクチン接種事業			0千円	9,180千円	226,564千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、接種を希望する人へのワクチン接種を円滑に実施する。
----------------	---

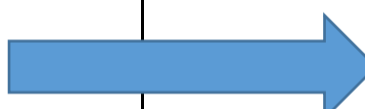
### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### ①新型コロナウイルスワクチン接種事業【重要事業】

- ・接種券発送業務 令和3年2月及び4月時点の住民基本台帳を元に接種券を作成し、令和3年4月12日より国が示した優先順位により接種券を順次発送。（追加接種も同様に接種券を作成。）
- ・接種業務 令和3年5月12日より「市民体育館」及び「総合福祉センター」を会場に集団接種を開始、11月7日まで集団接種を実施。個別接種は継続中。（追加接種も集団接種と個別接種で準備中）
- ・館林市邑楽郡医師会との調整 集団接種会場の医療業務に関することや従事シフト等の随時調整を行う。
- ・接種会場設営等 集団接種会場の設営及び運営業務や個別医療機関での個別接種の調整を行う。（追加接種も含めて）
- ・接種予約・相談業務 電話予約等のためにコールセンターを設置（委託）、LINE予約システム（委託）を導入。集団接種と各医療機関による個別接種の予約受付を行う（追加接種も同様）
- ・ワクチン管理業務 集団接種及び個別接種に使用するワクチン及びシリンジ等の管理及び配送を行う。（追加接種も同様）

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①新型コロナウイルスワクチン接種事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接種券発送業務</li> <li>・医師会調整</li> <li>・接種業務</li> <li>・接種会場運営等</li> <li>・予約・相談</li> <li>・ワクチン管理</li> </ul>		令和4年9月末まで（予定）
	事業費			
財源	国庫	226,564	246,712	
	県費	0	0	
	市債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	0	1,412	0

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 ワクチン接種率（1回目、2回目合算接種率・接種者数/対象者数）	-	目標値	80%	90%	-	-	-
	単位：	実績値	86.8%				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	226,564 千円	令和3年度決算額	453,634 千円
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種件数（延べ人数） ・ 123,607件  ※令和3年度からの事業		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価	A		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルスワクチン接種については、国の指示のもと、都道府県の協力により、市町村が実施する事業である。 国において、新型コロナ感染症対策の重要な柱として全国的に実施する施策であるため、本市においても不可欠な事業である。また、ワクチンを接種することにより、感染予防や重症化予防の効果があるため成果が高水準にある。		
課題	施策の推進において不可欠かつ、成果が高水準にある事業であるため、ワクチン接種を希望する人への接種機会を維持すること。		
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )		
	新型コロナウイルスワクチン接種事業は、現時点において、令和4年9月までの事業とされているため、本市においても国の指針に沿って縮小していく事業である。		
令和5年度事業計画	・ 事業なし(予定)		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考	国の指針の変更等により、新型コロナウイルスワクチン接種事業が継続する場合も考えられる。		

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	105	重要事業		総合戦略		担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・6	保健センター費			5,877千円	4,623千円	7,373千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健康教育・健康診査・栄養指導など、住民に対する保健サービス提供のため、総合的な拠点となる保健センターの管理運営を行う。
----------------	---

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

#### 保健センター管理運営

- ・施設管理（警備清掃・施設保守点検）
- ・不具合箇所の修繕
- ・LED化工事

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（事務室・相談室等〔1階〕）	保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（トイレ・湯沸室・廊下〔1階〕） ・受水槽ポンプ交換工事	保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（2階各部屋）
	事業費	7,111	7,414	7,414
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,111	7,414	7,414

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	7,373 千円	令和3年度決算額	5,112 千円		
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○令和元年度 ①修繕：事務室ドア修繕 廊下ドア鍵修繕 他 計136,804円 ②工事：非常用発電設備設置更新工事 非常用放送設備更新工事 計9,193,920円  ○令和2年度 ①修繕：非常用照明修繕 給湯室等ガス漏れ警報器交換修繕 他 計532,411円 ②工事：なし		○令和3年度 ①修繕：自動火災報知設備交換修繕 1階西側出入口誘導灯交換修繕 計214,500円 ②工事：自動水栓設置工事 照明器具交換工事 計1,408,000円		

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	保健センターは、市民に対する保健サービス提供に不可欠な拠点でもあるため、事業内容を充実し、増大する市民ニーズに対応しなければならない。また、施設管理については、年次計画により、長寿命化を図ることができる。					
課題	施設の老朽化に伴い、修繕費用の増加が見込まれる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	健康教育・健康診査・栄養指導など、住民に対する保健サービス提供のため、総合的な拠点となる保健センターの管理運営を行う。また、保健センターは自主避難所の開設順位が1位のため、災害対応の備えの更なる充実を図る。					
令和5年度事業計画	・LED化工事（2階各部屋）					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	106	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・1・2	地域医療対策事業			11,778千円	10,482千円	11,779千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶6_公立館林厚生病院を中心とした救急医療体制の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①救急医療在宅当番医制 ・館林市邑楽郡医師会の協力のもと、休祝日における救急医療患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を指導する。 ②休日歯科診療所 ・館林邑楽歯科医師会が運営する休祝日歯科診療業務に対し助成する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①救急医療在宅当番医制 診療日：日祝日・年末年始 内科・外科：9時～17時、耳鼻科：9時～13時 ・平成30年度 診察日数72日 ・令和元年度 診療日数76日 ・令和2年度 診療日数71日 （受診者数は統計未実施） ②休日歯科診療所 診療日：日祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分 ・平成30年度 診察日数73日 受診者数253人（1日当たり3.5人） ・令和元年度 診察日数78日 受診者数304人（1日当たり3.9人） ・令和2年度 診療日数74日 受診者数203人（1日当たり2.7人）	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	地域医療対策事業【重】	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出 ・館林邑楽歯科医師会に補助金を支出	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出 ・館林邑楽歯科医師会に補助金を支出	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出 ・館林邑楽歯科医師会に補助金を支出
	事業費	11,779	11,779	11,779
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,779	11,779	11,779

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
【市民アンケート】医療体制充実度の満足度		24.9	目標値	-	-	28.9	-	30.9
	単位：%		実績値	-				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	11,779 千円	令和3年度決算額	10,298 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①救急医療在宅当番医制 診療日：日祝日・年末年始 内科・外科：9時～17時、耳鼻科：9時～13時 ・令和元年度 診療日数76日 ・令和2年度 診療日数71日 ・令和3年度 診療日数71日 (受診者数は統計未実施)  ②休日歯科診療所 診療日：日祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分 ・令和元年度 診察日数78日 受診者数304人(1日当たり3.9人) ・令和2年度 診療日数74日 受診者数203人(1日当たり2.7人) ・令和3年度 診療日数72日 受診者数191人(1日当たり2.7人)			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	①救急医療在宅当番医制 休日における診療体制を整備し、住民の医療に対する満足度の向上を図っていくため今後も継続。 ②休日歯科診療所 平成30年10月から診療時間を午前中だけに縮小したことや、令和2年度より負担金額を1,200千円から、1,700千円に増額した。					
課題	①救急医療在宅当番医制 ・新規会員の増加よりも既存の医師会々員の高齢化が進み、医師不足である。 ・R2年度から外科の当番医が少なくなったことから、夜間急病診療所にて公立館林厚生病院から医師の派遣を受け、隔月で参加している。 ②休日歯科診療所 受診件数が減少傾向にあり、それに伴い診療収入が減少。平成30年10月からは、人件費を抑えるため患者数の少ない午後の診療を中止、午前の診療のみとした。					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	①救急医療在宅当番医制 ・館林市邑楽郡医師会の協力のもと、休日における救急医療患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を指導する。 ②休日歯科診療所 ・館林邑楽歯科医師会が運営する休日歯科診療業務に対し助成する。					
令和5年度事業計画	①救急医療在宅当番医制 診療日時：日祝日・年末年始 9時～17時(内科・外科)、9時～13時(耳鼻科) ②休日歯科診療所 診療日：日祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						



## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	107	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課 地域医療係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・1・2	邑楽館林医療事務組合負担金			863,091千円	897,591千円	851,206千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶6_公立館林厚生病院を中心とした救急医療体制の充実

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	信頼、安心、全ては患者さんのために 1 地の域医療・介護機関と協同し、住民の健康を支える病院となる 2 チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する 3 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす 3つの基本方針にいつも患者の権利を尊重して最善の医療を提供するための運営費として負担金を計上する。
----------------	--

### 令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・ 令和4年度から企業団に変更となるための手続き  
〔構成市町の議会（12月）に上程〕
- ・ 邑楽館林医療事務組合への負担金(851,206千円)の支出  
 6月 178,355千円  
 8月 247,246千円  
 11月 178,356千円  
 2月 247,249千円

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		邑楽館林医療事務組合負担金 邑楽館林医療事務組合への の負担金(851,206千円)の支出	邑楽館林医療事務組合負担金 邑楽館林医療事務組合への 負担金(885,663千円)の支出	邑楽館林医療事務組合負担金 邑楽館林医療事務組合への 負担金(885,663千円)の支出
	事業費	851,206	885,663	885,663
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	851,206	885,663	885,663

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
【市民アンケート】医療体制充実度の 満足度		24.9	目標値	-	-	28.9	-	30.9
		単位：%	実績値	-				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	851,206千円	令和3年度決算額	851,206千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	邑楽館林医療事務組合負担金 ・令和元年度 906,150千円 ・令和2年度 897,591千円 ・令和3年度 851,206千円			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	医師の安定確保を図り、住民の医療に対する満足度の向上を図るためには、必要な事業である。					
課題	1市5町の負担割合					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	令和4年4月1日から、「邑楽館林医療事務組合」から、「邑楽館林医療企業団」に経営形態が変更した。今まで以上に、より効率的な病院運営が可能となり、太田館林2次医療圏の基幹病院として、地域医療を支えていく。					
令和5年度事業計画	継続実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	108	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名				当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・1・7	夜間急病診療所管理運営				34,207千円	18,176千円	37,542千円

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶7_地域一体の医療体制づくりの推進

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
夜間急病診療所運営及び施設管理 ・令和3年1月18日から休診中（再開未定） ・休日当番医（外科）への参加（奇数月の第2日曜日）	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	夜間急病診療所運営及び施設管理 ・夜間診療 診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時 ・休日当番医 診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後5時	夜間急病診療所運営及び施設管理 ・夜間診療 診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時 ・休日当番医 診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後5時	夜間急病診療所運営及び施設管理 ・夜間診療 診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時 ・休日当番医 診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後5時	
	事業費	26,196	26,531	26,531	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		7,037	7,791	7,791	
	一般財源	19,159	18,740	18,740	

### 【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	92.6	目標値	-	-	-	-	95
	単位：%	実績値	-				
		目標値					
		単位：					
		実績値					
		目標値					
		単位：					
		実績値					

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	37,542 千円	令和3年度決算額	14,418 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7時～午後10時			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 診療日数291日 患者数1,398人 1日平均患者数4.8人</li> <li>・令和2年度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①夜間診療：診療日数 72日 患者数 79人 1日平均患者数1.1人</li> <li>②休日当番医：診療日数 3日 患者数 8人 1日平均患者数2.7人</li> </ul>                             休日当番医については外科での参加医師が少なくなったため、令和2年11月から隔月で夜間急病診療所に、公立館 林厚生病院から外科医師を派遣いただき診療を開始している。                         </li> <li>・令和3年度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①夜間診療：院内の感染症防止対策のため令和3年1月18日から休診となっている。</li> <li>②休日当番医：診療日数 6日 患者数 34人 1日平均患者数5.7人</li> </ul> </li> </ul>			

### 【事業の評価】

<b>【Check】</b> 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、新型コロナウイルスの院内感染予防のため夜間診療については休診中である。ただし、休日当番医については隔月（奇数月）で行っている。</li> <li>・施設管理については、市民の健康保持に不可欠な施設であるため、年次計画により長寿命化を図ってきたい。</li> </ul>					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会会員の高齢化等から協力医の確保が困難になっている。</li> <li>・施設の老朽化が著しいことから、施設整備の方向性を決定しなければならない状況にある。</li> </ul>					
<b>【Action】</b> 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	協力医の確保や施設の老朽化等、今後の運営については医師会や保健所等との調整も必要であるが、現状では、地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供することが必要である。					
令和5年度事業計画	継続実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小   ※前年度比較					
備考						

## 【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	109	重要事業	○	総合戦略		担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
国民健康保険 特別会計	特定健康診査等事業費			60,852 千円	47,532千円	62,156 千円	

### 【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶3_適用.給付.相談体制の充実
	▶1_疾病予防.特定健康診査などの保健事業の実施

### 【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	特定健康診査及び特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目したもので、実施することが医療保険者に義務付けられている。国民健康保険の被保険者の生活習慣病の発生及び重症化を未然に予防し、生活習慣の改善を図っていく。 特定健康診査、特定保健指導を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
40歳から74歳の被保険者に、特定健康診査の受診券を送付する。被保険者は、集団健診か個別健診のどちらかを選択して受診することができ、特定健康診査受診後の結果により、対象者を選定し、生活習慣病予防のための特定保健指導を健康推進課と連携して実施する。	
<b>■特定健康診査</b> ・場所 集団健診は、公益法人群馬県健康づくり財団に委託して、保健センター及び各公民館で実施する。 個別健診は、館林市邑楽郡医師会に委託して、各医療機関に個別に受診する。 ・期間 集団健診は、7月～12月 個別健診は、6月～10月 <b>■特定保健指導</b> ・集団健診受診者に対しては、公益法人群馬県健康づくり財団に委託し、個別健診受診者に対しては、保険年金課、または健康推進課で事業を実施する。 ・指導効果を高めるため、対象者の優先順位を設けて、指導を実施する。 ・未実施者に関しては、専門職による勧奨を実施する。	

### 【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	■特定健康診査 受診券発送	5月	5月	5月
	集団健診	7月～12月	7月～12月	7月～12月
	個別健診	6月～10月	6月～10月	6月～10月
	■特定保健指導	10月～	10月～	10月～
事業費		62,156	62,156	62,156
財源	国庫	17,439	17,439	17,439
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	44,717	44,717	44,717

### 【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	特定健診の受診率	37.8	目標値	45.2	48.9	52.6	56.3	60
		単位：%	実績値	36.6				
活動指標	特定保健指導実施率	21.4	目標値	30.6	35.2	39.8	44.4	49
		単位：%	実績値	17.9				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

## 【令和3年度事業】事業評価調書

### 【事業の実績】

令和3年度予算額	62,156 千円	令和3年度決算額	51,782 千円	
<b>【Do】</b> 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：5,299人 36.7%</li> <li>令和2年度：4,651人 36.0%</li> <li>令和3年度：4,547人 36.6%</li> </ul> </li> <li>・ 特定保健指導の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度：142人 22.5%</li> <li>令和2年度：167人 26.6%</li> <li>令和3年度：112人 17.9%</li> </ul> </li> </ul>			

### 【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	生活習慣病の予防及び早期発見を目的とする特定健康診査や、生活習慣病のリスクが高い被保険者に対し生活習慣の改善に向けたサポートをする特定保健指導を実施していく。生活習慣病の重症化や医療費の増加を防ぐための手段として、特定健康診査や特定保健指導は、欠かすことができない。					
課題	特定健康診査の受診率は40%に届いていない。県平均及び全国平均と比べても、低い受診率になっている。実施率向上のための取組や継続して実施する必要がある。また、受診結果をもとに、糖尿病性腎臓病の発症や重症化を予防するための取組を実施していかなければならない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 ( <input type="checkbox"/> 一部廃止 )					
	生活習慣病予防のための特定健康診査や生活習慣の改善を目的とした特定保健指導を引き続き実施していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査を実施 ( 集団健診及び個別健診 )</li> <li>・ 特定保健指導を実施</li> </ul>					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小                   ※前年度比較					
備考						